

# 年報

—平成 22 年度—

2011

大磯町郷土資料館

OISO MUNICIPAL MUSEUM

## はじめに

平成 22 年度大磯町郷土資料館年報を刊行いたします。

平成 22 年度はリニューアルの基本構想を策定し、今後の活動のあり方について検討しました。近い将来の郷土資料館像を具体化するうえで、たいへん重要な 1 年であったように思います。

企画展については昨年度、大磯にゆかりの人物に焦点をあてた企画展を中心に行ない、その流れを引き継ぐように城山公園全面開園 20 周年記念事業として、『三井高棟と吉田茂一城山荘と如庵、七賢堂の記憶一』を開催しました。その他の企画展としては、春季にワークショップの調査結果を紹介した学習参考資料展『みんなで調べた 今年の大磯町の春花』、夏季に明治時代の大磯の地域的な事象を紹介した企画展『元祖海水浴場・大磯』、秋季に神奈川県指定重要文化財の特別公開を目的とした企画展『受け継がれる祈りのかたち』を開催しました。また、翌春季にはアオバトが町の鳥として制定されたことを記念して、企画展『大磯町海辺の自然』を開催し、バラエティーに富んだテーマで展開した 1 年でした。

ワークショップでは、「大磯自然観察会」、「古文書裏打ちの会」、「海の教室」を継続的に開催したほか、新たに「海の森クラブ」を立ち上げ、大磯町海藻の目録化を進めています。また、従来のホームページによる情報発信を拡充するとともにツイッターの利用、音声ガイドの無料ネット配信という新たな試みも始めています。

今後とも資料館活動につきまして、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

大磯町郷土資料館

## 目次

---

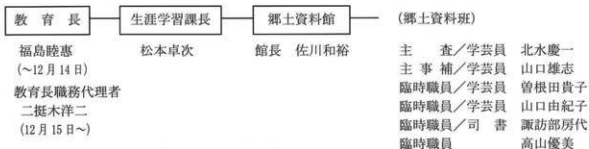
〔事業報告〕	
庶務	2
・組織および職員	2
・運営委員会	2
・予算	2
・維持管理	3
・入館者	3
学芸	4
・企画展	4
・学級・講座	9
・ネットコンテンツ等の開発	12
・他の博物館・生涯学習施設との連携	13
・学校教育との連携	13
・刊行物	14
・調査／研究／普及	15
・博物館実習	17
・博物館資料の収集、整備、利用	18
〔研究報告〕	
講座『みんなで町の自然を調べよう～桜・タンポポ・春の花～』 及び企画展『みんなで調べた今年の大磯町の春花』の 実施報告	
北水慶一	28

## 事業報告

---

# 庶務

## ■ 組織および職員



## ■ 運営委員会

<委員の構成(平成22年4月1日~平成23年1月7日)>

- ・委員 長/石田和夫(学識経験者)
- ・副委員 長/廣瀬利郎(社会教育委員)
- ・委 員/稲葉和也(文化財専門委員)  
近藤英夫(学識経験者)  
竹内浩(学校長)

<委員の構成(平成23年1月8日~3月31日)>

- ・委員 長/廣瀬利郎(社会教育委員)
- ・副委員 長/近藤英夫(学識経験者)
- ・委 員/稲葉和也(文化財専門委員)  
竹内浩(学校長)  
広谷浩子(学識経験者)

<委員会の開催>

- ・第1回/平成22年7月23日 議題1 平成21年度事業報告について  
議題2 平成22年度事業計画及び予算について  
議題3 リニューアルプランについて
- ・第2回/平成23年1月12日 議題1 平成22年度事業の進捗状況について  
議題2 展示リニューアルについて
- ・第3回/平成23年2月7日 議題1 展示リニューアルについて

## ■ 予算

<当初予算の推移>

事業	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
金額	61,188,000	71,083,000	51,922,000	54,050,000	44,911,000	46,633,000

<平成22年度決算>

事業	運営委員会	運営事務	維持管理	学芸活動	教育普及・企画展	改 修
金額	71,500	3,726,564	13,406,373	3,049,654	1,107,582	1,995,000
事業	公用車購入	計				
金額	813,700	24,170,373				

□職員給与(3人分) 21,549,365円 ■歳出合計 45,719,738円

## ■ 維持管理

### <委託業務>

- ・清掃委託／(株)清王サービス
- ・空調機器給水設備保守委託／扶桑工業(株)
- ・消防用設備保守委託／(株)三栄防災 平塚支店
- ・昇降機保守委託／ダイコー(株) 横浜営業所
- ・自動ドア保守委託／(株)神奈川ナブコ 厚木支店
- ・自家用電気工作物保守委託／浅葉電気管理事務所
- ・浄化槽維持管理委託／湘南興業(有)
- ・警備委託／(株)全日警 横浜支社
- ・敷地管理委託／(財)神奈川県公園協会
- ・燻蒸委託／関東港業(株) 横浜営業所

### <修繕>

- ・エントランスホール系空調機四方弁装置及びフィルター等交換工事／(株)根布工業
- ・汚水槽送風用ロータリーブローワー2号機交換及び湧水槽水中ポンプ交換、機器廻り配管交換工事／扶桑工業(株)
- ・ピクチャーレール設置工事／神奈川ファイリング(株)
- ・自動ドア修繕工事／(株)神奈川ナブコ 厚木支店
- ・屋内消火栓制御盤液面リレー交換工事／(株)三栄防災
- ・女子トイレフラッシュバルブ交換工事／扶桑工業(株)

## ■ 入館者

### <入館者数の推移>

単位：人、日

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	累計(昭和63年～)
入館者数	28,966	31,697	28,576	34,927	29,782	739,567
1日平均/開館日数	99/291	107/296	98/292	119/294	102/291	115/6,435

### <月別入館者数>

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数	2,665	3,623	1,743	1,734	2,110	2,210	3,088	3,648	1,744	2,226	2,817	2,174	29,782
1日平均	107	145	76	75	84	88	119	146	76	97	122	87	102

### <見学・視察>

館対応分のみ、単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	3	3	0	0	0	1	2	2	0	2	0	0	13

### <研修室の利用>

単位：団体

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	17	15	11	11	11	10	8	10	14	6	8	6	127

■ 企画展

学習参考資料展『みんなで調べた 今年の大磯町の春花』

期 間／平成22年4月25日(日)～6月6日(日)

開場日数／35日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約200点

料 金／無料

入場者数／4,677人

(趣 旨) 当館ではこれまでにワークショップの活動延長に、企画展での成果発表という目標を見据えた活動を度々実施してきた。ワークショップ「草と木の調査」においては第1次、第2次調査の終了後には調査の結果を企画展で紹介した。また、「民俗に親しむ会」では収蔵資料の整理完了後に活動の成果を発表した。いずれのワークショップも4、5年を掛けて資料や調査データを蓄積し、十分に成果を得たと判断した時点で展示を実施したが、本展では、完成した成果物を展示するのではなく、展示が始まったも調査を継続し、その都度、新しい情報を入れる手法を取るとともに一般の方でも展示作製者の一人として参加できるような展開を試行する。

(内 容) 展示資料の収集は2つの方法で進めた。ひとつが住民参加型の調査「みんなで町の自然を調べよう」による対象植物の分布データの収集、もうひとつが公募による春の花の写真の収集である。「みんなで町の自然を調べよう」では37の方々に参加していただき、大磯町全域を調査することができた。春の花の写真は9の方々からご提供いただいた。

展示は「桜の分布」、「タンポポの分布」、「春の七草の分布」、「春の花」の4つのテーマで構成した。「桜の分布」、「タンポポの分布」、「春の七草の分布」は「みんなで町の自然を調べよう」の調査結果を中心に対象植物の分布状況、同属の植物との見分け方等を紹介した。「春の花」はご提供いただいた写真をA3版に引き伸ばして展示した。展示した写真パネルの点数は学習参考資料展の初日は63点であったが、徐々に増え、最終的に144点となった。

中央昇降台には参考資料として生花を展示した。十分な光量が得られず弱っていく植物が見受けられたが、4人の方が入れ替わり植物を持ってきてくださり、35日間の会期中、欠かすことなく展示することができた。本展においては本当に多数の方々のご理解、ご協力により、実施できたと実感している。本展に携わった方々に御礼を申し上げます。

(担 当) 北水慶一



企画展『元祖海水浴場・大磯』

—東京中のしゃれた奴らがやってきた!—

期 間／平成22年7月24日(土)～9月5日(日)

開場日数／36日間

会 場／郷土資料館 企画展示室

資料点数／50点

料 金／無料

入場者数／3,207人

(趣 旨) 大磯海水浴場は、全国的に海水浴場として名高い。今回の展示では、夏の代名詞～海水浴～を大磯に関連する人々が培ってきた文化であるという点に着目した。本展で「海水浴」を紹介するにあたって、大磯海水浴場開設を契機として発展した大磯の歴史を「海水浴文化」という幅広い括りでもとらえ、夏の風物詩として一般的に馴染み深い海水浴をあらためて再考する内容とする。併せて、博物館と来館者のインタ



アクション機会を創出するネットコンテンツの作成を試みる。

(内容)本展示は、大磯町の発展の礎となった海水浴文化について分かりやすく紹介することに留意し「①復元資料」「②絵画・写真資料」を展示。大磯の海水浴に関する文献史料や実物資料の展示では、なぜ「元祖」といえるのか海水浴文化の起源にも言及した(「③文献資料からたどる大磯海水浴場のあゆみ」)。なお、明治時代の水着美人の写真を「顔出し看板」として引き伸ばし、企画展の告知看板を兼ねて作成した。来館者が顔を出した看板を携帯電話のカメラで撮り、写メールで知人と共有してもらうことを想定、有機的な口コミ宣伝効果を狙った。実際に個人ブログで紹介されていることが確認できた。

<復元資料：海水浴文化と言えれば・・・>

海水浴と聞いて、一番に想起する事柄に重点を置いた。水着や海の家である。海水浴場開設間もない明治中期の浮世絵(当館所蔵)に描かれた海水茶屋(海の家)を日本大学理工学部海洋建築工学科浸水工学研究室と連携し展示室に再現し、来館者が明治の海水浴場にタイムスリップしたような感覚を演出した。また、リアリティーを求め明治時代の水着のひな型見本と隣接し、雛型に基づいた復元を東京家政大学の協力で実現し、展示した。また、告知看板を明治時代の水着美人の顔出し看板にして来館者参加型の看板を作成した。



<絵画・写真・資料にみる海水浴：「東京中のしゃれた奴らがやってきた！」>

当時の日本の風俗を痛烈に描いた仏人風刺画家ジョルジュ・ビゴーによる大磯の海水浴客を描いた絵を初公開、明治時代の「大磯海水浴場の繁華を描いた錦絵・写真などを展示。大磯に東京の知識階級が海水浴のため訪れ、別荘を建築し都市的な文化が導入され繁栄したことが窺える展示内容とした。

<文献資料からたどる大磯海水浴場のあゆみ>

「海水浴ノススメ」と銘打ち、18世紀中頃初めて医学的根拠に基づき「海水浴」を発表した英国人医師の論文や、江戸時代末松本順が目にした「海水浴」の有効性を説いたオランダの薬学書、そして大磯海水浴場開設後に松本が著した「海水浴」啓蒙書など、「海水浴」概念の形成と普及に貢献した文献資料を展示した。また、これらの文献資料と併せて、欧州において医療法として誕生した「海水浴」が大磯海水浴場を舞台に、各時代とニーズを背景として夏の大衆娯楽・「海水浴」へと変容する誘因となった象徴的な事象を年表形式で紹介した。

<おわりに>

日本で初めて海水浴場が開設された場所は諸説あるが、娯楽としての「海水浴」の出発点は大磯海水浴場といっても過言ではない。各方面による協力のもと、「海水浴」文化・歴史、そして「元祖・海水浴場」としての大磯の発展の経緯を、多角的視点から紹介することで、あらゆる客層の人々が参加し楽しんでもらえる展示となった。ご協力頂いた東京家政大学服飾美術学科・東京家政大学博物館及び日本大学理工学部海洋建築工学科親水工学研究室の皆様にはあらためてお礼を申し上げます。

(担当) 曾根田貴子・山口由紀子

## 企画展『受け継がれる祈りのかたち 一六所神社神像特別公開』

期間／平成22年10月17日(日)～12月5日(日)

開場日数／41日間

会場／郷土資料館 企画展示室

出品点数／約40点

料金／無料

入場者数／5,783人

(趣旨)大磯町に鎮座する六所神社では平成20年の調査で「木造武装神形立像・木造女神形立像」が発見され、翌年には両像が神奈川県指定重要文化財に指定された。その後は一般公開をされる機会がなかったため、新たな指定文化財の公開を目的として開催する。

(内容)「国府祭神事・座間答と鶯の舞」、「顕現する神と仏」、「国府祭の側面」のテーマのもと、展示を行なった。今回の展示では、戦前まで六所神社の宮司を務めていたお宅から六所神社由来の古文書をお借りした。中でも神揃山絵図面は数少ない六所神社を物語る貴重な資料として、初めて展示す





ることができた。「顕現する神と仏」では六所神社所蔵の木造武装神形立像、木造女神形立像を始め、伝徳稲田姫命図や真勝寺所蔵の木造薬師如来坐像の展示を行なった。木造武装神形立像、木造女神形立像が大磯町内で展示されるのは初めてのことであり、新たに県指定された文化財を公開する貴重な機会になったと考える。

(担 当) 山口雄志

#### 〔関連行事〕

##### 民俗芸能鑑賞会『相模国府祭鷺の舞』

期 日/①平成22年10月17日(日)、②11月14日(日)

場 所/当館研修室

実 演/相模国府祭鷺の舞保存会

参加人数/①53人、②38人

(内 容) 企画展の開催にあたり、国府祭の神事「鷺の舞」を郷土資料館研修室にて執り行なうこととなった。「鷺の舞」は神事として行なわれるものであり、本来はこのような場所で行なうことはないものである。今回、大磯町の文化財を地域の方々により親しんでいただくという趣旨のもと、文化財の保護や継承に繋がる活動として開催することができた。開催にあたっては相模国府祭鷺の舞保存会並びに六所神社のご理解とご協力をいただいた。



##### 中丸身代り地藏尊拝観ツアー

日 時/平成22年10月24日(日) ① 10:00~11:00、② 14:00~15:00

場 所/西長院、郷土資料館

参加人数/①14人、②9人

(内 容) 企画展の開催と同時期に城山公園に隣接する西長院にて本尊の石造地藏立像(中丸身代り地藏尊)の特別公開が行なわれた。公開日は地藏尊の縁日に当たる10月24日で、企画展の解説を行なってから西長院に移動し、身代り地藏尊や寺内の彫刻の解説を行なった。

(担 当) 山口雄志

##### 大磯城山公園全面開園20周年/旧吉田茂邸再建基金募金協力事業

##### 『三井高棟と吉田茂 一城山荘と如庵、七賢堂の記憶-』

期 間/平成23年1月8日(土)~2月13日(日)

開場日数/31日間

会 場/郷土資料館企画展示室、城山公園北蔵ギャラリー

出品点数/約100点

料 金/無料

入場者数/3,722人

(趣 旨) 当館の立地する神奈川県大磯城山公園が平成2年に全面開園してから20年経過したことを記念し、公園の前身である旧三井城山荘にかかわる資料を紹介するとともに、今後、県立公園として整備が見込まれる旧吉田邸や現存する七賢堂の関連資料を公開する。また、城山公園の20年の歩みを写真や年表で紹介する。平成21年には、隣接する旧吉田茂邸を取り込み、大磯城山公園を拡大する都市計画決定がなされたこともあり、本展示が新しい大磯城山公園に向けての布石となることを期待し、財団法人神奈川県公園協会・大磯城山公園・大磯運動公園ならびに当館の共催として開催する。

(内 容) 大きく3つのテーマによって展示を構成した。

①城山荘と如庵~三井高棟の面影~ (会場: 郷土資料館)

三井北家(総領家)第10代当主・三井八郎右衛門高棟が、大磯城山の地に別邸「城山荘」を設けたのは明治31年であった。総領家当主としての重責を担った高棟は、夏の休暇や療養で城山荘を頻りに利



用したほか、昭和8年に家督を譲った後は、ここを終の棲家と決め、全国の古社寺から集めた古材を使い木造耐震建築の別館を建てた。震災や戦災から守るために、国宝の茶室如庵を東京の本邸から城山に移すなど、日本文化の保存と興隆にも貢献した高棟の関連資料を展示した。特に多趣味であった高棟が自ら手がけた画や陶器などが、関係者から数多く提供された。また、如庵の移動の様子を映した8ミリビデオを編集して常時放映した。

#### ②七賢堂～吉田茂の面影～(会場：郷土資料館)

吉田茂の養父である吉田健三が城山に隣接する切通に別邸を設けたのは明治17年のことであった。吉田は、9歳になった同20年からここで多感な少年時代を過ごしており、やがて政治の表舞台に立つ吉田であるが、一貫してこの地を本邸とし続けた。残念ながら本邸は平成21年に焼失したが、滄浪閣(伊藤博文邸)邸内から移築した七賢堂は延焼を免れた。吉田にとって心のよりどころであった七賢堂に掲げられていた七賢堂板額、前身の五賢堂の板額、内部に祀られていた7人の遺影などを七賢堂外で初公開した。

#### ③城山公園20年の歩み(会場：城山公園北蔵ギャラリー)

城山荘は昭和44年に三井家の手をはなれ、敷地内にあった多くの建物は移築・解体された。その後住宅地として開発が計画されると、多くの人々から保存を求める声があがり、県立都市公園として整備された。城山荘時代の面影を残した公園には、長い歴史と豊かな自然が醸し出す風情に誘われた多くの人々が訪れるようになった。そこで平成2年の全面開園から現在までの城山公園の歩みを写真や年表から振り返った。なお、本テーマの展示については、財団法人神奈川県公園協会(大磯城山公園管理事務所)において担当し、城山公園北蔵ギャラリーにて展示を行なった。

(担当) 佐川和裕、曾根田貴子、山口由紀子

#### 【関連事業】

##### 城山公園 歴史と自然のまるごとツアー

日 時/平成23年2月6日(日)

①午前11時～12時 ②午後2時～3時

場 所/大磯城山公園内

講 師/当館学芸員

参加人数/①40人 ②20人

(内 容) 企画展関連事業として、城山公園を散策しながら館職員が歴史や自然の見どころを紹介した。公園内に残る古道の面影、横穴墓、石碑、景観、樹木、植物、野鳥などを探索し、城山荘時代の唯一の建物で、現在は館の収蔵庫として使用している「東蔵」の内部も公開した。予想を超える参加者があり盛況であった。また、季節を変えてのツアー開催の要望も聞かれた。

(担当) 佐川和裕、北水慶一



##### 記念講演会『城山荘と祖父三井高棟の思い出』

日 時/平成23年2月11日(祝) 午後1時30分～3時

場 所/当館研修室

講 師/三井保子氏(日本スロヴァキア文化交流会理事)

参加人数/105人

(内 容)

三井総領家第10代当主・三井高棟の孫にあたる三井保子氏により、祖父高棟の生涯、高棟や城山荘の思い出などを講演された。また、展示中の高棟関連資料についても、さまざまなエピソードを交えて詳しく解説された。参加者の約6割が大磯町民、それに対して約4割が町外在住者であり、町民のみならず、広く関心呼び起こした企画だったといえる。なお、会場は立ち見が出るほどの盛況ぶりであった。

(担当) 佐川和裕



## スタンプラリー

日 時／平成 23 年 1 月 8 日（土）～2 月 13 日（日）

実施場所／郷土資料館・大磯城山公園・大磯運動公園

内 容／近隣の 3 施設が協力し、人の流れを作りながら集客を目指してスタンプラリーを実施した。昨年度に引き続いて 2 回目の開催。今回は企画展にあわせて、展示開催期間中の実施とした。3 施設がそれぞれオリジナルスタンプと景品を用意し、3 施設のスタンプがたまと各施設で景品に交換できるとした。

### 「アオバト」町の鳥制定記念

「大磯照ヶ崎のアオバト集団飛来地」神奈川県天然記念物指定 15 周年記念

#### 企画展『大磯町の海辺の自然』

期 間／平成 23 年 3 月 6 日（日）～5 月 15 日（日）

開場日数／59 日間

会 場／郷土資料館 企画展示室、廻廊

出品点数／約 200 点

料 金／無料

入場者数／5,662 人

後 援／神奈川県教育委員会

（趣 旨）平成 8 年 2 月、大磯町の照ヶ崎は全国的に見ても数少ないアオバトの海水吸飲飛来地として、神奈川県天然記念物に指定された。本年は節目となる 15 年目を迎えること、また、昨年 11 月 3 日に「アオバト」が町の鳥に制定されたことを契機として、企画展を開催する。

平成 18 年に当館において神奈川県天然記念物指定 10 周年記念事業として、企画展『アオバトのふしぎ』を開催した。同展はアオバト 1 種を取り上げ、食べ物や営巣、冬の暮らし、海水吸飲の謎など生態学的なアプローチで展開した。今回の企画展ではアオバトをはじめその他の野鳥や照ヶ崎の磯に生息する生物、周辺の砂浜で見られる海浜植物等広く海岸の自然を取り上げる。展示をとおして、生物多様性に適した海岸環境のあり方を考える機会とする。

（内 容）本展は『こまたん』（湘南地域を基点に野鳥観察を中心とした自然観察会を実施している団体）及び当館主催ワークショップ『海の森クラブ』のメンバーと一緒に展示の企画、準備を行なった。小テーマの構成は大磯町の海岸全域の生物相を捉え、「照ヶ崎海岸のアオバト」、「照ヶ崎海岸周辺で見られる野鳥」、「アカウミガメが産卵に来る砂浜」、「照ヶ崎の岩場で見られる生物」、「海浜植物」、「大磯町の海藻」の 6 つで展開した。「照ヶ崎海岸のアオバト」、「照ヶ崎海岸周辺で見られる野鳥」の展示資料はいずれも『こまたん』から提供していただいた。「照ヶ崎海岸のアオバト」について、アオバトを取り上げた展示は過去に数度実施していたので、生態に関して掘り下げた内容を提示することも考えたが、他の展示コーナーとのバランスからアオバトを知らない方も分かっていたいただけるような基本的な内容にとどめた。「照ヶ崎海岸周辺で見られる野鳥」については、1 年をとおして比較的良好に見られる 16 種を選び紹介した。「アカウミガメが産卵に来る砂浜」については、当館で記録した平成 16 年、平成 21 年の産卵・孵化状況を写真パネルで紹介した。「照ヶ崎の岩場で見られる生物」は飯田福信氏が平成 15 年から平成 22 年にかけて撮影された磯の生物のうち、よく見られる生物、興味を引きそうな生物を中心に 64 種を選び紹介した。「海浜植物」は本町でよく見られる 17 種を選び、写真パネル、乾燥標本を展示した。「大磯町の海藻」はワークショップ『海の森クラブ』で進めている大磯町の海藻の目録化の根拠標本のうち、17 種を紹介した。

本展会期中、3 月 11 日に東日本大震災が発生。その後の計画停電等の影響により休館等の措置が検討されたが、照明を通常より約 2 分の 1 に落とすこと、暖房の使用を制限すること等の対応をしながら通常どおり開館することになった。震災直後の 2 週間は 1 日平均 60 人まで落ち込み入館者数の動向を心配したが、4 月 10 日（日）頃から例年に近い入場者数へと戻っていった。アンケートの意見・感想でアオバトについてよく分かった、海藻おしぼの美しさに驚いた等の意見をいただき、展示を実施した成果は得られたのではないかと考えている。

（担 当）北水慶一



## ■ 学級・講座

### <大磯自然観察会>

※平成22年4月より「草と木の調査」から名称変更  
期 日／平成22年5月8日(土)・22日(土)、6月  
12日(土)・26日(土)、7月10日(土)・  
24日(土)、8月28日(土)、9月25日(土)、  
10月23日(土)、11月13日(土)・27日(土)、  
12月11日(土)、平成23年1月22日(土)、  
2月12日(土)、3月12日(土)・26日(土)

場 所／大磯運動公園他

参加人数／延204人

(内 容) 本ワークショップは、植物の調査を通して植物に関する知識を深めるとともに身近な自然に親しむことを目的に平成11年度に活動を開始した。これまでに第1次調査 秋の植物分布調査〔平成11年度・12年度〕、第2次調査 県立大磯城山公園の植物調査〔平成13～17年度〕、第3次調査 星槎湘南大磯キャンパス(万台こゆるぎの森)の植物調査〔平成18～21年度〕を実施してきた。

第4次調査に移行する際、ワークショップ名についても一新しようと思い、参加者を対象に新名称を募集した。「道草の会」、「大磯の花しらべ隊」、「大磯草木会」等25案の候補があげられた。まず、第1次選考として3案にしぼった。選考の結果、「大磯植物愛好会」、「大磯自然観察会」、「大磯の植物とふれあう会」の3案が残った。続いて第2次選考(最終選考)を実施し、新名称として「大磯自然観察会」という名称になった。

本年の活動内容としては、16回の活動のうち、11回を第4次調査 大磯運動公園の植物調査にあて、残りの5回は星槎湘南大磯キャンパスでの調査・作業を2回と海岸の植物観察、高麗山の植物観察、町内の桜と春の七草観察を各1回実施した。

(各回の活動内容)

月 日	内 容	月 日	内 容
5月8日	大磯運動公園の花暦調査	10月23日	大磯運動公園の花暦調査
5月22日	星槎湘南大磯キャンパス内の樹木の名札設置作業	11月13日	大磯運動公園の花暦調査
6月12日	大磯運動公園の花暦調査	11月27日	高麗山の植物観察
6月26日	海岸の植物観察	12月11日	大磯運動公園の花暦調査
7月10日	大磯運動公園の花暦調査	1月22日	大磯運動公園の花暦調査
7月24日	星槎湘南大磯キャンパスの花暦調査	2月12日	大磯運動公園の花暦調査
8月28日	大磯運動公園の花暦調査	3月12日	大磯運動公園の花暦調査
9月25日	大磯運動公園の花暦調査	3月26日	桜と春の七草の観察

(担 当) 北水慶一

### <古文書裏打ちの会>

#### ①通常講座

期 日／平成22年4月17日(土)、5月15日(土)、6月19日(土)、7月17日(土)、8月21日(土)、9月4日(土)、10月16日(土)、11月3日(祝)、12月18日(土)、平成23年1月15日(土)、2月19日(土)



場 所／当館研修室

講 師／鶴飼レイ子氏、中村ふち氏、吉原悦子氏

参加人数／延125人

(内 容) 裏打ちの技術を学びながら、当館で所蔵している古文書の裏打ちを行なうワークショップ。博物館資料の整理というボランティア的な性格をもつ活動として位置づけ、平成16年度から継続している。本年度も昨年度に引き続き、障子や襖に下張りされていた古文書の資料化を進めた。なお、9月および11月については、通常講座として作業を進める一方で、博物館実習生および一般公開講座として開催した。

## ②博物館実習体験講座

期 日／平成22年9月4日(土)

場 所／当館研修室

講 師／古文書裏打ちの会会員

体験者数／7人

(内 容) 博物館学芸員資格を取得するために当館において実習中の博物館実習生を対象に、実習カリキュラムの一環として開催した。古文書裏打ちの会会員による指導で、のり作りから裏打ちまでの全工程の体験実習を行なった。



## ③おおいそ文化祭・古文書裏打ち体験

期 日／平成22年11月3日(水・祝)

場 所／当館研修室

講 師／古文書裏打ちの会会員

体験者数／3人(見学者多数)

(内 容) おおいそ文化祭の参加行事の一つとして、一般を対象に古文書裏打ち体験会を開催した。古文書の裏打ちは、資料や作業の性格上、参加人数を制約せざるをえず、これまで会員に退会者が出た場合に限り新たな会員を公募していた。しかし、応募されてきた方々が裏打ち作業に持つイメージと、実際の作業がかけ離れている場合が多く、新たに会員となっても長続きしないという状況も生まれている。そこで、実際に作業内容を公開し、興味のある方々に体験していただき、作業の実情を知っていただいた上で、参加意向のある方を募集することとした。今回は、体験者1名が新たに会員として加入した。

(担 当) 佐川和裕、曾根田貴子

## <海の教室>

### ①磯の生き物の観察と講話

期 日／平成22年5月30日(日)

場 所／照ヶ崎海岸

講 師／福田良昭氏(相模貝類研究談話会会長)

参加人数／20人

### ②アオバト観察会

期 日／平成22年6月27日(日)

場 所／照ヶ崎海岸

講 師／斎藤常實氏(こまたん)

参加人数／12人

### ③ビーチコーミング

期 日／平成23年2月20日(日)

場 所／照ヶ崎海岸～北浜海岸

参加人数／7人

(内 容) 特定の学問分野に拘らず「海」をテーマに様々なことを体験し、楽しみながら海岸環境や海産生物についての知識を深めることを目的に平成12年度から実施して



いる。平成 20、21 年度は大磯町の海藻の目録化を目指した活動を中心に展開したが、平成 22 年 5 月から「海の森クラブ」を開講し、海藻部門を同ワークショップに移したため、海の教室開講当初に近い活動内容にあらためた。具体的な活動内容として、磯の生き物の観察と講話、アオバト観察会、ピーチーミングを各 1 回実施した。

(担 当) 北水慶一

### <海の森クラブ>

期 日／平成 22 年 5 月 27 日 (木)、6 月 17 日 (木)、7 月 15 日 (木)、10 月 21 日 (木)、11 月 18 日 (木)、12 月 16 日 (木)、平成 23 年 1 月 20 日 (木)、2 月 17 日 (木)、3 月 3 日 (木)・5 日 (土)

場 所／町内海岸、大磯港港湾管理事務所、郷土資料館内  
参加人数／延 25 人

(内 容) 平成 20、21 年度に「海の教室」で実施した大磯町の海藻の目録化を目指した活動に関して、独立したワークショップをつくり、長期的な活動を実施することにした。活動は海藻があまり見られなくなる 8 月、9 月の時期は休止にして、海藻の生育に合わせて 10 月から 7 月という変則的な活動期間で進めることにした。

5 月に開始して 7 月までの 3 回の活動は定点観察地、照ヶ崎の磯観察と同地で採集した海藻おしぼづくりを続けた。10 月以降は 3 月開催の企画展「大磯町の海辺の自然」の準備にあてた。準備では資料の配置を打ち合わせるとともに展示資料の制作、列品を行なった。初年度の活動であったが、企画展を通して、制作した標本、作品を発表する機会もあり、有意義な活動ができたのではないかと考えている。

(各回の活動内容)

月 日	内 容	月 日	内 容
5 月 27 日	照ヶ崎海岸の磯観察、海藻おしぼの制作	12 月 16 日	照ヶ崎海岸の磯観察、海藻おしぼの制作、企画展「大磯町の海辺の自然」第 3 回打ち合わせ
6 月 17 日	照ヶ崎海岸の磯観察、緑藻の色止め実習	1 月 20 日	照ヶ崎海岸の磯観察、企画展「大磯町の海辺の自然」第 4 回打ち合わせ
7 月 15 日	大型海藻標本の制作	2 月 17 日	企画展「大磯町の海辺の自然」準備 (展示資料の作成)
10 月 21 日	企画展「大磯町の海辺の自然」第 1 回打ち合わせ、図録掲載写真の選択	3 月 3 日	企画展「大磯町の海辺の自然」準備 (展示資料の作成)
11 月 18 日	企画展「大磯町の海辺の自然」第 2 回打ち合わせ、図録掲載写真の選択	3 月 5 日	企画展「大磯町の海辺の自然」準備 (列品)

(担 当) 高山優美・北水慶一

### <みんなで町の自然を調べよう 桜・タンポポ・春の花ー>

[合同調査・調査のまとめ]

期 日／平成 22 年 2 月 13 日 (土)・27 日 (土)、3 月 27 日 (土)、4 月 3 日 (土)・10 日 (土)・20 日 (火)・21 日 (水)・22 日 (木)・24 日 (土)

場 所／当館研修室、大磯町内各所

参加人数／129 人

(内 容) 大磯町全域を対象とした住民参加型の植物調査。桜 (ヤマザクラ・オオシマザクラ・ソメイヨシノ・サトザクラ・イヌザクラ・ウワミズザクラ・マメザクラ)、タンポポ



(カントウタンポポ・セイヨウタンポポ・アカミタンポポ・シロバナタンポポ)、春の七草のうちの5種(セリ・ナズナ・ハハコグサ・ミドリハコベ・コオニタビラコ)の計16種類の大磯町内における分布状況を調べた。情報の共有を目的に3月から4月の間に5回の合同調査を実施した。調査終了後には、調査者全員でデータの整理を行なった。

(各回の活動内容)

月 日	内 容	場 所
2月13日	ガイダンス/勉強会 (ハハコグサ属、ハコベ属、タンポポ属、サクラ亜科の学習)	郷土資料館 研修室
2月27日	勉強会 (セリ属、ナズナ属、ヤブタビラコ属、サクラ亜科の学習)	郷土資料館 研修室
3月27日	合同調査	大磯町西小磯
4月3日	午前：合同調査 午後：合同調査データの整理	午前：大磯町西小磯 午後：郷土資料館研修室
4月10日	合同調査	大磯町大磯
4月20日	合同調査のデータ整理	郷土資料館 研修室
4月21日	合同調査・個別調査のデータ整理	郷土資料館 研修室
4月22日	個別調査のデータ整理	郷土資料館 研修室
4月24日	個別調査のデータ整理	郷土資料館 研修室

〔個別調査〕

調査期間/平成22年2月4日(立春)～5月4日(立夏の前日)

場 所/大磯町内

活動内容/大磯町の地図を16分割し、それぞれの担当区域を決めた後、個別に対象区域を数回巡回し、記録を取った。

参加人数/37人

(担 当) 北水慶一

## ■ ネットコンテンツ等の開発

### <ツイッター利用>

地域博物館のICT活用を通して当館の情報発信と来館者とのインタラクティブの幅を広げるため、いくつかの試みを行なった。まず、新しいメディアツールであるツイッターで企画展に関する「つぶやき」を多く発信した。館からの情報発信がツイッターの利便性を持って迅速化でき、今後イベントの告知などにも使える可能性がある。現在フォロワー数が着実に伸び続けている。東日本大震災の際は、開館情報をいち早く発信でき、当館の今後のツイッター利用に一石を投じることとなった。

### <音声ガイド無料でネット配信>

音声ガイドサービスを初めて提供した。「視覚障がい者や外国人にも配慮した音声ガイドサービスの無料ネット配信、無料貸出」というコンセプトのもと、制作に経費をかせずに、パソコン、インターネットを駆使、また、地元朗読ボランティアグループ「ひびき」と連携し、音声ガイドを録音・配信した。この取り組みは、財団法人日本博物館協会の「博物館研究」の記事として取り上げられた。

## ＜ホームページの充実＞

### ・活動の情報発信

郷土資料館のWebサイト内[大磯町郷土資料館ノート]に館活動情報等を掲載し、発信した。

### ・YouTube 動画

企画展の告知動画や資料館への道順をYouTubeに載せて展開した。

・ツイッターとホームページ（「大磯町郷土資料館ノート」）の連動  
最新のホームページの書き込みをツイート（つぶやき）として反映、また、ツイートをホームページのタイムライン表示されるようにした（右図）。

（大磯町郷土資料館ノートの月別アクセス数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数	6,644	4,766	3,235	3,359	2,898	2,719	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	2,632	3,131	3,628	4,042	5,476	2,523	45,053



## ＜バリアフリー・ユニバーサルアクセスを目指して＞

### ・点字・ひらがなカード

館内の回廊にある「大磯の詩歌」の点字・ひらがなカードを、大磯町の点字ボランティアグループ「きつつき」の協力のもと作成。視覚障がいのある方は、点字を通して読んでもらい、健常者は、崩し字で書かれた詩歌を、読む手引きとして活用できるようにした。

（担当）曾根田貴子・山口由紀子



## ■ 他の博物館・生涯学習施設との連携

### ＜自然史系博物館標本データ整備事業への参加＞

自然史標本データベース神奈川委員会の参加館として、植物500件、昆虫500件のデータベースを整備し、データ提供を行なった。本データは国立科学博物館Webサイト内「サイエンスミュージアムネット」で検索、閲覧が可能である。

（担当）北水慶一

## ■ 学校教育との連携

### ＜教員を対象とした講義＞

- ・大磯町立学校新採用教職員研修（5月）
- ・総合学習に生かせる大磯の自然講座（8月）



<児童・生徒を対象とした学習指導>

	学校から郷土資料館へ (郷土資料館の見学、学習指導)		郷土資料館から学校、町内各所へ (郷土資料館外への講師派遣)	
幼稚園・保育園	10月14日	国府幼稚園・たかとり幼稚園 国府保育園3園合同遠足	6月11日	大磯幼稚園照ヶ崎海岸磯遊び
小学校	5月20日	国府小学校1年生遠足	9月22日	大磯小学校2年生生活科学習 「みんなでつくろうフェスティバル」
	6月10日	大磯小学校6年生総合学習 「大磯町の歴史を学ぼう」	9月24日	国府小学校生沢分校総合学習 「ピーチコミング・アート」
	6月24日	大磯小学校3年生総合学習 「おおいそまちたんけん」		
	10月5日	二宮小学校4年生遠足		
	11月12日	国府小学校2年生生活科学習 「わたしの町大すぎ」		
	1月25日	国府小学校3年生社会科学習 「わたしの町を調べよう」		
中学校	5月20日	星槎中学校課外活動	9月24日	国府中学校生沢分校総合学習 「ピーチコミング・アート」
	9月22日	大磯中学校1年生総合学習 「職場訪問」	12月15日	大磯中学校1年生総合学習 「左義長」

<その他の活動>

- ・小学4年生から使用する理科副読本「大磯の自然－磯の生物編－」の作成(年間)  
(担当)佐川和裕、北水慶一、諏訪部房代

■ 刊行物

<図録・冊子>

- ・企画展『元祖海水浴場・大磯－東京中のしゃれた奴らがやってきた！－』図録  
A4版16頁 500部(平成22年7月刊)
- ・『Report－大磯町郷土資料館だより』31  
A4版10頁 800部(平成22年10月刊)
- ・企画展『大磯町の海辺の自然』図録  
A4版20頁 800部(平成23年3月刊)
- ・『年報－平成21年度－』  
A4版40頁 400部(平成23年3月刊)

<チラシ・パンフレット>

- ・学習参考資料展『みんなで調べた 今年の大磯町の春花』チラシ  
A4版両面 3,000部(平成22年4月刊)
- ・企画展『元祖海水浴場・大磯－東京中のしゃれた奴らがやってきた！－』チラシ  
A4版両面 3,000部(平成22年7月刊)
- ・常設展リーフレット『甦るモノ心－今、その良さが見直されている道具たち－』  
B5版4頁 2,000部(平成22年9月刊)
- ・企画展『受け継がれる祈りのかたち－六所神社神像特別公開－』チラシ  
A4版両面 4,000部(平成22年10月刊)
- ・大磯城山公園全面開園20周年/旧吉田茂邸再建基金募金協力事業  
『三井高棟と吉田茂－城山荘と如庵、七賢堂の記憶－』 A4版両面 3,000部(平成22年12月刊)
- ・企画展『大磯町の海辺の自然』チラシ  
A4版両面 3,000部(平成23年2月刊)

<その他>

- ・講座通信『木葛枝－大磯自然観察会通信－』 A4版2～4頁 コピ-対応(平成22年4,7,10月、平成23年1月刊)
- ・講座通信『海の森通信』 A4版2頁コピ-対応(平成22年6,7,10,11,12月、平成23年1,2月刊)

## ■ 調査・研究・普及

### <館内外の活動>

- ・博物館資料調査/年間/大磯町内外(佐川、北水、山口〔雄〕、曾根田、山口〔由〕、諏訪部、高山)
- ・神奈川県博物館協会役員会出席/年間/神奈川県立歴史博物館(佐川)
- ・大磯町教育研究所特別研究部会「大磯の自然に関する調査・研究部会」講義/4月27日、5月13日、6月11日、7月1日、8月18日、11月5日、12月3日、1月14日、2月8日、3月1日/教育研究所ほか(北水)
- ・大磯町教育研究所「大磯の自然に関する調査・研究部会」野外観察会指導/7月25日、10月24日、12月19日、3月6日/大磯町内(北水)
- ・大磯町新採用職員研修会「大磯の歴史、行事について」講義/4月22日・28日/大磯町保健センター(佐川)
- ・相模民俗学会総会、運営委員会、研究会出席/5月16日、9月26日、1月16日/横浜市歴史博物館ほか(佐川)
- ・二宮町生涯学習課主催にのみや町民大学講座「ビーチコーミング」指導/5月15日・29日/梅沢海岸、ラディアン(北水)
- ・大磯町立学校新採用教職員研修会講義/5月18日/郷土資料館(北水)
- ・水と緑の環境ネットワークの会主催きれいな川と海であそび隊プロジェクト「相模湾清掃活動&地引網体験」指導/6月5日/西小磯の海岸(佐川)
- ・大磯町立大磯幼稚園「照ヶ崎海岸磯遊び」指導/6月11日/照ヶ崎(北水)
- ・大磯町立大磯小学校3年生総合学習指導/6月24日/郷土資料館(佐川)
- ・桜美林大学博物館実習講義/6月27日ほか/桜美林大学(佐川)
- ・平塚市中央公民館主催市民アカデミー『七夕を学ぼう!七夕まつりをもっと楽しもう!』「大磯の七夕」講義/7月7日/平塚市中央公民館(佐川)
- ・平塚市環境政策課主催夏休み子ども環境教室〔海編〕指導/7月26日/平塚新港周辺(北水)
- ・大磯町教育研究所研修講座「総合学習に生かせる大磯の自然講座」指導/8月18日/照ヶ崎(北水)
- ・大磯町立大磯小学校2年生生活科学学習指導/9月22日/大磯小学校(佐川)
- ・大磯町立大磯中学校1年生職場訪問指導/9月22日/郷土資料館(北水、諏訪部)
- ・西小磯西域福祉推進委員会主催「地域の集い」『なつかしい道具で昔話を花を咲かせましょう』講義/9月29日/西小磯西老人憩いの家(佐川)
- ・厚木ユネスコ定例会「海の環境を考える集い」講義/10月3日/西小磯の海岸(佐川)
- ・大磯町立国府小中学校生沢分校総合学習講義/10月8日/国府小中学校生沢分校(北水)
- ・藤沢地名の会主催講演会/10月30日/藤沢市役所(佐川)
- ・大磯町立国府小学校2年生生活科学学習指導/11月12日/郷土資料館(北水)
- ・大磯町観光協会主催邸園文化交流園・大磯2010秋事業「初代総理大臣伊藤博文公ゆかりの大磯めぐり」講義/11月16日・19日/郷土資料館(佐川)
- ・大磯ライオンズクラブ卓話「大磯町内の地名」講義/11月16日/大磯プリンスホテル
- ・関東学院大学文学部比較文化科セミナーI指導/11月3日/郷土資料館(佐川)
- ・小田原市生涯学習政策課主催おだわらシルバークラブ大学指導/11月24日/郷土資料館(佐川)
- ・大磯町立大磯中学校1年生総合学習講義/12月15日/大磯中学校(佐川)
- ・大磯町立国府小学校3年生総合学習指導/1月25日/郷土資料館(佐川)
- ・厚木市郷土資料館主催「地域博物館入門」講義/2月8日/郷土資料館(佐川)
- ・東海大学博物館実習I講義/2月14日/東海大学(佐川)

### <施設・展示解説>

- ・鎌倉散歩倶楽部/4月14日・15日・20日/各10人(山口〔雄〕)
- ・国際学園 湘南大磯キャンパス/5月20日/40人(北水)
- ・神奈川文学・歴史を歩く会/9月5日/40人(山口〔雄〕)
- ・海老名市教育委員会/1月12日/4人(北水)
- ・山北町岸連合自治会/1月20日/27人(山口〔雄〕)

## <執筆>

佐川和裕

2010. 7. 「楽しむことは、博物館の魅力伝えること」『博物館学芸員課程年報』2009年度 第11号 桜美林大学
2011. 2. 「こころの中の地名ー「ほとけの買い物」の行き先ー」『藤沢地名の会会報』第75号 藤沢地名の会
2011. 3. 「新聞記事にみる大磯海水浴場事情」『年報ー平成21年度ー』大磯町郷土資料館

北水慶一

2010. 10. 「2010 アカウミガメ孵化確認の記録」『Reportー大磯町郷土資料館だより』31 大磯町郷土資料館
2011. 3. 企画展『大磯町海辺の自然』図録 大磯町郷土資料館

山口雄志

2010. 10. 「企画展「受け継がれる祈りのかたち ー六所神社神像特別公開ー」」『Reportー大磯町郷土資料館だより』31 大磯町郷土資料館

曾根田貴子

2010. 4. 「大磯の賢人 吉田茂 対中国政策」『広報おおいそ4月』大磯町政策課
2010. 5. 「大磯の賢人 吉田茂 外務省トップへ」『広報おおいそ5月』大磯町政策課
2010. 6. 「大磯の賢人 吉田茂 「吉田大臣、幣原次官」」『広報おおいそ6月』大磯町政策課
2010. 7. 「大磯の賢人 吉田茂 吉田とムッソリーニ」『広報おおいそ7月』大磯町政策課
2010. 7. 企画展『元祖海水浴場・大磯ー東京中のしゃれた奴らがやってきた！ー』図録 大磯町郷土資料館
2010. 8. 「大磯の賢人 吉田茂 待命の身へ」『広報おおいそ8月』大磯町政策課
2010. 9. 「大磯の賢人 吉田茂 国際連盟脱退」『広報おおいそ9月』大磯町政策課
2010. 10. 「大磯の賢人 吉田茂 「外交的感覚のない国民は必ず凋落する」」『広報おおいそ10月』大磯町政策課
2010. 10. 「「元祖海水浴場・大磯ー東京中のしゃれた奴らがやってきた！ー」展をふりかえって」『Reportー大磯町郷土資料館だより』31 大磯町郷土資料館
2010. 11. 「大磯の賢人 吉田茂 二・二六事件」『広報おおいそ11月』大磯町政策課
2010. 12. 「大磯の賢人 吉田茂 幻の「吉田外務大臣」」『広報おおいそ12月』大磯町政策課
2011. 1. 「大磯の賢人 吉田茂 駐英大使就任ー日独防共協定への抵抗」『広報おおいそ1月』大磯町政策課
2011. 2. 「大磯の賢人 吉田茂 日英同盟の復活を目指して」『広報おおいそ2月』大磯町政策課
2011. 3. 「大磯の賢人 吉田茂 不吉な同盟」『広報おおいそ3月』大磯町政策課

山口由紀子

2010. 7. 企画展『元祖海水浴場・大磯ー東京中のしゃれた奴らがやってきた！ー』図録 大磯町郷土資料館
2010. 10. 「「元祖海水浴場・大磯ー東京中のしゃれた奴らがやってきた！ー」展をふりかえって」『Reportー大磯町郷土資料館だより』31 大磯町郷土資料館

高山優美

2011. 3. 企画展『大磯町海辺の自然』図録 大磯町郷土資料館

## ■ 博物館実習

平成22年度は5大学より7名の学生を受け入れた。実習期間は8月31日から9月11日の間(9月5日・6日を除く)及び7月30日(事前ガイダンス)、9月17日(課題等提出)の計12日間とした。

博物館実習は例年、1週目と2週目とでは作業内容を変えて実施している。実習1週目は民俗、自然各分野の作業や梱包、軸物等資料の取り扱いなど実務的な作業を行ない、2週目は常設展示室の展示替実習を行なった。展示替実習は実習生が主体となって、企画立案から展示に至るまでの作業を進めるもので、本年度は「甞るモノ心〜今、その良さが見直されている道具たち〜」のタイトルで進めた。昭和という激動の時代、人々は新たに開発された製品を取り入れて、より良い生活になるように励んでいた。刻々と変化する暮らしにあわせて生活用品は形状や性能を変えてきた。本展では昭和の生活用品にスポットをあて、製品の移り変わりを紹介した。実際に展示した生活用品は壁掛け電話(明治〜昭和初期)、黒電話(昭和30年代)、釜(昭和初期)、電気釜(昭和40年)の4点であったが、特に年輩の方からなつかしいといった声が聞かれている。

### <実習生>

長 哲史(駒澤大学)、菊池 朋篤(駒澤大学)、椎野 紗代(関東学院大学)、関野 恵子(関東学院大学)  
八木 彩夏(鶴見大学)、眞鍋 直子(東海大学)、飯田 里佳子(昭和音楽大学)

### <課程>

月 日	曜日	午 前	午 後
7月30日	金		ガイダンス/館内見学
8月31日	火	自然野外調査(ウミガメ孵化調査)	自然野外調査(ウミガメ孵化調査) /町内施設・史蹟見学 /講義(資料館の活動概要)
9月1日	水	寄託資料の受け入れ	古文書裏打ちの会 事前準備
9月2日	木	自然野外調査(植物調査)	収蔵庫の資料整理 /展示替実習打ち合わせ
9月3日	金	資料梱包	資料梱包/軸物の取り扱い /展示替実習打ち合わせ
9月4日	土	古文書裏打ちの会参加	古文書裏打ちの会参加 /展示替実習打ち合わせ
9月7日	火	展示替実習(資料調査・資料選択・旧展示片付け)	
9月8日	水	展示替実習(資料選択・写真撮影・原稿作成・パネル作製)	
9月9日	木	展示替実習(写真撮影・原稿作成・パネル作製・リーフレット編集・展示台作製)	
9月10日	金	展示替実習(写真撮影・パネル作製・キャプション作製・リーフレット編集・展示台作製)	
9月11日	土	展示替実習(パネル作製・リーフレット作製・展示台作製・列品・片付け・展示批評)	
9月17日	金		旧吉田茂邸の見学/澤田美喜記念館の見学



(担 当) 北水慶一、佐川和裕、山口雄志、曾根田貴子、山口由紀子

■ 博物館資料の収集、整備、利用

<寄贈資料>

(敬称略)

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2009-0422	H22. 4. 1	古文書	一括	近藤敬一郎 東京都新宿区	0804	H22. 8. 20	写真	一括	飯田善雄 大磯町大磯
0423	H22. 4. 6	衣類	一括	麻生フミ江 大磯町東町	0805	H22. 8. 21	ヒバシ	1組	新見由美子 大磯町東小磯
0424	H22. 4. 14	油彩画	1	蒲田昌子 大磯町高麗	0901	H22. 9. 3	貯蓄債券 他	31	加藤廣美 大磯町国府本郷
0426	H22. 4. 14	衣類	一括	麻生フミ江 大磯町東町	0902	H22. 9. 9	サルノコシカケ	1	飯田善雄 大磯町大磯
0427	H22. 4. 28	大笹屋資料	一括	釜津田輝夫 大磯町大磯	0903	H22. 9. 11	写真	2	竹永紋子 大磯町大磯
0601	H22. 6. 1	古文書	一括	出縄政美 大磯町大磯	0904	H22. 9. 17	五月人形	一式	吉川雅明 大磯町国府本郷
0602	H22. 6. 4	生物標本 他	一括	木村純子 大磯町大磯	0905	H22. 9. 28	昆虫生態写真 他	70	木村純子 大磯町大磯
0603	H22. 6. 12	ハクビシン (剥製) 他	2	鈴木正明 大磯町国府本郷	1001	H22. 10. 17	ラジオ	1	光野恒雄 大磯町大磯
0701	H22. 7. 8	衣服	4	麻生フミ江 大磯町東町	1101	H22. 11. 5	マッチバコ 他	一括	飯田善雄 大磯町大磯
0702	H22. 7. 16	写真 他	18	木村純子 大磯町大磯	1102	H22. 11. 5	トーチホルダー	1組	仲川三郎 大磯町西小磯
0703	H22. 7. 23	写真	20	内田もと子 大磯町大磯	1201	H22. 12. 8	オビ 他	4	黒江初江 大磯町国府新宿
0801	H22. 8. 6	貝殻・化石	一括	飯田善雄 大磯町大磯	1202	H22. 12. 8	表札 (島崎春樹)	1	菊池なつみ 大磯町大磯
0802	H22. 8. 11	衣類	2	麻生フミ江 大磯町東町	2011-0101	H23. 1. 25	ウナイグワ 他	7	西山敏夫 二宮町山西
0803	H22. 8. 17	土器・石器	一括	蓮花院 大磯町国府新宿					

<寄託資料>

(敬称略、寄託期間：H22. 4. 1～H24. 3. 31)

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2010-0401	H22. 4. 1	菊池重三郎関係資料	一括	菊池なつみ 大磯町大磯	0412	H20. 4. 1	木造仁王像	2	慶覚院
0402	H22. 4. 1	古文書	一括	後藤勲 大磯町月京	0413	H22. 4. 1	随神 他	5	南本町区長
0403	H22. 4. 1	書籍	2	山川正 大磯町国府新宿	0414	H22. 4. 1	クワカス'テン看板	1	孫田光雄 大磯町国府本郷
0404	H22. 4. 1	稲荷講資料	一括	中村晴夫 大磯町西小磯	0415	H22. 4. 1	日誌、雑書類	10	小見滋夫 大磯町西小磯
0405	H22. 4. 1	四季耕作園 他	9	守屋町子 大磯町黒岩	0416	H22. 4. 1	稲荷講資料	一括	戸塚浩 大磯町西小磯
0406	H22. 4. 1	獅子頭	2	榎道区長	0417	H22. 4. 1	木造神像 他	12	高来神社
0407	H22. 4. 1	雛人形	一括	田川順三 横浜市緑区	0418	H22. 4. 1	扁額、壺	2	国府中学校
0408	H22. 4. 1	統監帽 他	一括	西小磯東区長	0419	H22. 4. 1	伊藤博文書幅	1	大木伸男 栗野市福山下
0409	H22. 4. 1	吉田茂杯 他	5	大磯中学校	0420	H22. 4. 1	屏風 (六曲半双)	1	大久保忠旦 千葉市花見川区
0410	H22. 4. 1	子供会旗 他	2	西小磯子ども会長	0421	H22. 4. 1	一本松稲荷講中資料	一括	宮代治吉 大磯町大磯
0411	H22. 4. 1	掛軸 他	一括	西小磯西区長 西小磯東区長	0425	H22. 4. 17	高札	3	坂井孝明 大磯町黒岩

<購入資料>

No.	受入年月日	資料名	数量	受入先	No.	受入年月日	資料名	数量	受入先
2010-0501	H22. 5. 27	古書『美人十二ヶ月』	12	永森書店 東京都千代田区	1203	H22. 12. 10	書籍『国寶建造物如藏 並露地移築工事報告』	1	南文生書院 東京都文京区
0704	H22. 7. 20	復元暖簾	1	暖簾 平塚市大神					

<資料整備委託>

木造神像保存処理委託／ゆ光園美術研究所  
祭り船解体・組立（展示）委託／大磯御船祭保存会  
動物剥製作製委託（アカウミガメ5体）／ゆ尼ヶ崎科学標本社



アカウミガメの剥製

<資料の館外貸出>

(敬称略)

資料名	点数	利用目的	期 間	申請者	資料名	点数	利用目的	期 間	申請者
書籍	4	資料調査	H22. 6. 19 ～ 7. 8	個人	押し葉標本	8	展示	H22. 11. 17 ～H22. 3. 10	神奈川県立生命の 星・地球博物館
書籍	2	資料調査	H22. 6. 19 ～ 6. 26	個人	アオバト剥製	1	展示	H22. 11. 26 ～H23. 1. 31	大磯町 環境経済課
民具	16	講座資料	H22. 7. 15 ～ 7. 21	個人	城山遺跡 調査出土品	20	資料整理	H22. 12. 1 ～H23. 1. 29	テイケイト レード圃
ボーリング データ	3	工事資料	H22. 7. 6 ～ 7. 23	大磯町 都市計画課	資料受入台帳	1	資料整理	H22. 12. 3 ～H23. 2. 8	テイケイ トレード圃
城山遺跡 調査出土品 他	20	資料整理	H22. 9. 2 ～ 11. 19	テイケイト レード圃	書籍	1	資料調査	H23. 1. 21 ～ 2. 10	個人
書籍	1	資料調査	H22. 10. 1 ～ 10. 10	個人	郷土資料相 紙本構想報告書 他	2	工事資料	H23. 1. 24 ～ 1. 24	大磯町 都市計画課
城山遺跡 調査出土品	21	資料整理	H22. 10. 19 ～ 12. 10	テイケイ トレード圃	書籍	3	資料調査	H23. 2. 10 ～ 2. 21	個人
ボーリング データ 他 <sup>1</sup>	4	授業	H22. 10. 7 ～ 11. 16	大磯小学校	郷土資料	一括	祭事	H22. 3. 5 ～ 3. 6	西小磯東区長
城山遺跡 調査出土品 他	36	資料整理	H22. 11. 12 ～H23. 2. 8	テイケイト レード圃	錦絵 他	4	展示	H23. 3. 28 ～ 7. 29	東日本鉄道 文化財団

<備品の館外貸出>

(敬称略)

備品名	点数	利用目的	期 間	申請者	備品名	点数	利用目的	期 間	申請者
スクリーン	1	勉強会	H22. 8. 21 ～ 8. 22	災害時支援 ボランティア	プロジェクター スクリーン	各1	講座	H22. 11. 6 ～ 11. 6	ガイドボラン ティア協会
プロジェクター	1	勉強会	H22. 9. 25 ～ 9. 26	災害時支援 ボランティア	プロジェクター	1	授業	H22. 11. 18 ～ 11. 24	大磯小学校
プロジェクター スクリーン	各1	講座	H22. 11. 2 ～ 11. 4	生涯学習課					

<資料の特別利用>

(敬称略)

資料名	点数	利用目的	年月日	申請者	資料名	点数	利用目的	年月日	申請者
錦絵	3	撮影 /テレビ放映	H22.4.21	㈱NEXTEP	外観、館内展示、 実習風景	—	撮影 /研究発表	H22.8.31	博物館実習生
絵はがき	8	撮影 /テレビ放映	H22.5.7	韓国放送公社	外観、館内展示、 実習風景	—	撮影 /研究発表	H22.8.31	博物館実習生
松本順肖像写真	1	複写 /イベント利用	H22.5.7	大磯町 観光推進室	錦絵	1	撮影 /刊行物掲載	H22.9.7	個人
鳴立庵資料	6	撮影 /研究発表	H22.6.1	個人	絵はがき	1	撮影 /刊行物掲載	H22.9.11	個人
観光ポスター	1	データ利用 /刊行物掲載	H22.6.1	大磯町 観光協会	館内の設備	—	撮影 /研究発表	H22.9.12	個人
天然記念物写真	6	複写 /研究発表	H22.6.8	個人	絵はがき	3	撮影 /刊行物掲載	H22.9.20	個人
渡辺慶次郎 肖像写真	1	複写 /ホームページ掲載	H22.6.18	大磯町 観光推進室	吉田茂旧邸	1	データ利用 /刊行物掲載	H22.9.27	神奈川県 教育委員会
西小磯 七夕竹神輿	1	撮影 /刊行物掲載	H22.6.23	個人	錦絵、 松本順肖像写真	4	複写 /展示	H22.9.30	大磯町 観光推進室
錦絵	1	ホームページ掲載 /ホームページ掲載	H22.7.6	個人	企画展示	—	撮影 /刊行物掲載	H22.10.17	広報 カメラマン
企画展示	—	撮影 /研究発表	H22.7.27	個人	神奈川県 大磯明細全図	1	複写 /刊行物掲載	H22.10.19	柳玉川 文化財研究所
絵はがき	7	撮影 /テレビ放映	H22.7.23	㈱日テレ・ アックスオン	城山荘模型	1	撮影 /研究発表	H22.10.26	個人
企画展示	—	撮影 /研究発表	H22.7.27	個人	絵はがき	—	複写 /研究発表	H22.10.26	個人
西小磯 七夕竹神輿他	—	撮影 /研究発表	H22.8.3	個人	館内展示	—	撮影 /研究資料	H22.11.13	個人
企画展示	—	撮影 /個人的趣味	H22.8.7	個人	横穴墓群写真	21	撮影 /刊行物掲載	H22.11.16	個人
錦絵・絵はがき	2	撮影 /テレビ放映	H22.8.9	NHKエデュ ケーションショナル	押し葉標本	8	撮影 /展示	H22.11.17	神奈川県立 生命の星・地球博物 館
錦絵	1	撮影 /刊行物掲載	H22.8.12	21世紀の輸出プロ ジェクト実行委員会	彫刻	3	撮影 /刊行物掲載	H22.11.19	蒔ぎょうせい
館内展示	—	撮影 /個人的趣味	H22.8.15	個人	館内展示	—	撮影 /個人的趣味	H22.11.26	個人
企画展示	—	撮影 /刊行物掲載	H22.8.20	東京家政大学 博物館	絵はがき	1	撮影 /刊行物掲載	H22.12.7	秩湘南 ジャーナル社
アカウミガメ 写真	1	データ利用 /ホームページ掲載	H22.8.27	個人	絵はがき	1	データ利用 /刊行物掲載	H22.12.10	㈱真珠書院
企画展示	—	撮影 /研究発表	H22.8.29	個人	伊藤博文 肖像写真 他	3	データ利用 /刊行物掲載	H23.1.12	SIZE-N
錦絵	1	撮影 /研究発表	H22.8.31	個人	絵はがき 他	29	データ利用 /研究発表	H23.1.19	個人
外観、館内展示、 実習風景	—	撮影 /研究発表	H22.8.31	博物館実習生	絵はがき 他	12	撮影 /映像作成	H23.1.25	NTTラーニング システムズ
外観、館内展示、 実習風景	—	撮影 /研究発表	H22.8.31	博物館実習生	小島本陣模型	1	撮影 /個人的趣味	H23.2.10	個人
外観、館内展示、 実習風景	—	撮影 /研究発表	H22.8.31	博物館実習生	絵はがき	1	複写 /刊行物掲載	H23.2.15	慶應義塾大学 出版会(株)
外観、館内展示、 実習風景	—	撮影 /研究発表	H22.8.31	博物館実習生	考古資料 他	—	撮影 /ホームページ掲載	H23.3.9	個人
外観、館内展示、 実習風景	—	撮影 /研究発表	H22.8.31	博物館実習生	神奈川県 大磯明細全図	1	データ利用 /刊行物掲載	H23.3.16	大磯町 観光推進室

＜寄贈受入図書＞

出版地	寄 贈 者	書 名	発行日	
大磯町	アートギャラリー大磯 大磯中学校 星槎大学	武林歌吉画集	2009/8	
		学校要覧 平成22年度	2010/6	
		共生科学 Vol.1 (May 2010)	2010/5	
		共生科学研究：星槎大学紀要 No.5	2010/3	
		子どもの科学的表現を高める環境学習プログラムの作成報告書：自然のパートナー把握を通して 第2集	[2011]	
茅ヶ崎市	茅ヶ崎市文化資料館	第2回「日本共生科学会」大磯大会：研究発表論文集・シンポジウム講演予稿集・総会資料	2010/6	
		読書感想文集、平成20年度	2008/7	
		読書感想文集、平成20年度	2009/5	
		あのみちこのみち歴史みち	2010/8	
		ちがさき村ごと歴史散歩	2010/1	
藤沢市	藤沢市教育委員会	文化資料館調査研究報告 19	2010/3	
		田島比呂子文庫作品集：藤沢市制施行70周年記念特別企画	2010/12	
		藤沢市社寺建築物調査報告書 1 (寺院編)	2010/3	
		藤沢市文化財調査報告書 第45集	2010/3	
		ある兵士の軍隊日記 上	2010/3	
平塚市	東海大学文学部 平塚市真田・北金目遺跡調査会	地域から考える横浜開港：報告書：横浜開港150周年記念シンポジウム	2010/12	
		平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書 7 第1分冊	2010/3	
		平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書 7 第2分冊	2010/3	
		平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書 7 第3分冊	2010/3	
		平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書 7 第4分冊	2010/3	
		平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書 7 第5分冊	2010/3	
		平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書 7 第6分冊	2010/3	
		平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書 8 (15・F・G、37、38、39、40、41A・B、48、50A・C・D、51A～E、52A・B区) 第1分冊	2011/3	
		平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書 8 (15・F・G、37、38、39、40、41A・B、48、50A・C・D、51A～E、52A・B区) 第2分冊	2011/3	
		平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書 8 (15・F・G、37、38、39、40、41A・B、48、50A・C・D、51A～E、52A・B区) 第3分冊	2011/3	
		平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書 8 (15・F・G、37、38、39、40、41A・B、48、50A・C・D、51A～E、52A・B区) 第4分冊	2011/3	
		平塚市博物館	開運!招福!相州だるま：平成22年度冬期特別展	2010/12
		市民が探る平塚空襲：65年目の検証：2010年度夏期特別展	2010/7	
		自然と文化：平塚市博物館研究報告 33 (2010)	2010/3	
		平塚の石仏 6	2009/10	
平塚市博物館年報 33 (2009)	2010/3			
湘南の美術を学ぶ会	回路：古川画集 続	2010/12		
寒川町	寒川町教育委員会	倉見才戸遺跡：第11次調査発掘調査報告書	2010/3	
		塔の塚 (no. 52遺跡)：第2次調査発掘調査報告書	2010/3	
		寒川町史研究 第23号	2010/3	
二宮町	二宮町環境部	寒川町史調査報告書 17	2010/3	
		文人町長と工業市街地化：寒川町制施行70周年記念誌 1940～2010	2010/11	
		ひとしづく：戦時下の二宮を記録する会・会報誌 第4号(日記編)	2010/11	
小田原市	小田原市教育委員会	二宮町生物多様性基礎調査報告書	2010/9	
		シンポジウム「古墳時代の始まりと足柄平野」記録集	2010/3	
		高田遺跡群・下堀方形居館：古代高田郷と中世の居館	2010/3	
		史跡小田原城跡馬出門	2010/3	
		小田原市遺跡調査発表会：発表要旨 平成21年	2009/12	
神奈川県立生命の星・地球博物館	神奈川県立生命の星・地球博物館	小田原城三の丸幸田口跡第V地点	2010/3	
		千代南原遺跡第XVI・XVII・XX地点	2010/3	
		神奈川県立博物館研究報告、自然科学 39号	2010/3	
		神奈川自然誌資料 31	2010/3	
		日本列島20億年その生い立ちを探る：展示解説書	2010/9	
		報徳博物館館報 No. 16	2010/6	
		箱根町立郷土資料館	東海道山の開所・箱根/うみの開所・新居：特別展図録	2010/1
		箱根町立郷土資料館館報 第27号	2010/7	
		足柄乃文化 第37号	2010/3	
		資料にみる神奈川の歴史：近現代展示資料解説シート：平成22年度神奈川県立公文書館通常展示	[2010]	
山北町	山北町教育委員会	神奈川県立公文書館年報 平成21年度	2010/6	
横浜市	神奈川県立公文書館			



出版地	寄贈者	書名	発行日
	盤古堂考古史料展示室	愛宕山（あたごやま）遺跡第11地点 曾我谷津岩本（そがやついわもと）遺跡第1地点 草山遺跡2006-01地点	2010/3 2010/3 2010/1
	神奈川県立金沢文庫	称名寺の庭園と伽藍：特別展 史跡称名寺境内庭園両橋復元完成記念 描かれた寺社：中世の指図と明治の社寺明細帳図 幕末明治の横浜・金沢：横浜開港150周年記念企画展	2009/4 2008/12 2010
	横浜みなと博物館 神奈川県立図書館 （神奈川県文学振興財団） 神奈川県立近代文学館 シルク博物館 横浜都市発展記念館 神奈川県教育委員会	豪華客船インテリア画展 郷土神奈川 第49号 神奈川近代文学館年報 2009年（平成21年）度 ヨコハマ開港とシルク モダン横浜案内 郷土史かながわ 近現代と神奈川 神奈川県埋蔵文化財センター年報 22 神奈川県埋蔵文化財調査報告 55 中地区の社会教育	2011/3 2011/3 2009/10 2010/9 2010/8 2011/3 2011/3 2011/3 2010/2 2010/6
	神奈川県社会教育協会 神奈川県博物館協会 神奈川県立歴史博物館	神奈川県社会教育協会中支部発足30周年記念誌 神奈川県博物館協会加盟館園職員名簿 2010 神奈川県博物館協会会報 第82号 神奈川県立博物館研究報告 人文科学 第36号 神奈川県立歴史博物館年報 平成21年度 天狗推参！：特別展 浮世絵・忠臣蔵：描かれたヒーローたち！：特別展	2010/7 2010/9 2011/3 2010/3 2010/9 2010/9 2010/11
	馬の博物館 （馬事文化財団） 横浜市歴史博物館	企画展馬のコイン：繁栄のシンボル 戦国の城と馬：特別展 ベリー来航と横浜開港：瓦版・絵巻にみる 横浜市歴史博物館資料目録 第18集 絵地図・浮世絵にみる開港場・横浜の風景 古代の役所と地域社会：誕生！古代よこはまの郡家（ぐうけ）：横浜市歴史博物館【開港150周年記念】特別展	2010/9 2010/4 2009/7 2010/3 2009/5 2010/1
	かながわ考古学財団	江戸時代の神奈川：陸の道と海の道の交差点 考古学ってなに？ 陸の道と海の道の交差点：江戸時代の神奈川：横浜市歴史博物館特別展 横浜開港150周年記念 21世紀から見たいせはらのむかし かながわの考古学：研究紀要 16 遺物展解説：発掘調査成果展示会 平成22年度 榎戸横穴群 下糟屋・丸山遺跡（第6地点） 下堀広坪遺跡第1地点・下堀塚田町遺跡第1地点・下堀道上町遺跡第1地点 今田広町遺跡 渋沢奈良郷遺跡第1地点 小出川河川改修事業関係遺跡群 3 上行寺裏遺跡（六浦二丁目3番地近世墓群） 石橋石丁場群玉川支群 川尻遺跡 3 池子遺跡群 11 第1分冊 池子遺跡群 11 第2分冊 池子遺跡群 11 第3分冊 朝比奈町やぐら群・坂本元屋敷やぐら群 長谷大谷やぐら群 2 津久井城跡（本城曲輪群地区） 3 鶴巻南遺跡群 2 縄文時代の植物食と水場利用：財団法人かながわ考古学財団公開セミナー 平成22年度 年報 17 能満寺（上ノ寺）跡 発掘された木器からわかること：平成22年度東京・神奈川・埼玉埋蔵文化財関係財団普及連携事業公開セミナー 発掘調査成果発表会 発表要旨、平成22年度 本牧荒井横穴墓群 問答ヶ原遺跡	2009/10 2010/4 2009/10 2009/10 2010/12 2011/3 2010/11 2010/9 2010/12 2011/3 2011/3 2010/12 2011/3 2011/3 2010/12 2011/2 2011/2 2011/2 2011/2 2011/2 2011/2 2011/1 2011/3 2010/12 2011/1 2011/1 2010/10 2011/3 2011/1
川崎市	オリジン社 川崎市立日本民家園	秦野市No.44上大槻尾尻端遺跡：分譲地造成に伴う発掘調査報告書 旧野原家住宅	2010/6 2011/2

出版地	寄贈者	書名	発行日	
川崎市	川崎市市民ミュージアム	絵図でめぐる川崎：失われた景観をさぐる	2011/1	
		絵図でめぐる川崎：失われた景観をさぐる、別冊：絵図トレース集	2010/7	
		川崎市市民ミュージアム紀要、第23集	2011/3	
	有明文化財研究所	三ツ沢貝塚	2010/9	
鎌倉市	鎌倉市教育委員会	鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書：平成21年度発掘調査報告 26 第1分冊	2010/3	
		鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書：平成21年度発掘調査報告 26 第2分冊 鎌倉 109号、110号	2010/3 2010/7、12	
横須賀市	横須賀市教育委員会	埋蔵文化財発掘調査概報XVIII：近代化遺産・近代遺跡調査概報IV： 平成20年度新指定重要文化財等調査報告：平成20年度指定要文化財等保存 修理報告	2010/3	
		横須賀市自然・人文博物館	19世紀の日本と亜米利加：技術革新と近代外交の日々 横須賀市博物館研究報告 自然科学 第57号 横須賀市博物館資料集 第34号 横須賀市博物館報 No. 56	[2010] 2010/3 2010/3 2010/3
横須賀美術館	横須賀美術館	横須賀美術館年報 平成20年度 (2008. 4. 1-2009. 3. 31)	2010/3	
		横須賀美術館年報 別冊教育普及事業編 平成19年度-平成20年度	2010/3	
三浦市	三浦市教育委員会	平成19年度遺跡試掘調査：平成19年度市内遺跡発掘調査報告書	2010/3	
		葉山町 葉山しおさい博物館	相模湾の貝類 潮騒だより No. 21	2010/3 2010/3
綾瀬市	綾瀬市教育委員会	綾瀬市史研究 第11号 神崎遺跡範囲確認調査報告書	2010/3 2010/3	
相模原市	相模原市教育委員会	上溝4丁目彼岸遺跡第4地点：宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 相模原市文化財年報 平成21年 平成22年	2009/12 2010/3	
		田名向原遺跡 4	2010/8	
座間市	座間市教育委員会	座間むかしむかし 第32集	2010/3	
		座間市史 5 (通史編 上巻)	2010/3	
茨城県	稲敷市立歴史民俗資料館	稲敷市立歴史民俗資料館館報 第4号	2010/3	
		常州東条庄高田郷の刀鍛冶：岡澤九郎兵衛一門とその系譜	2010/11	
		小美玉市立玉里史料館	小美玉市史料館報 第4号	2010/3
		水戸市立博物館	水戸市立博物館報 第25号 平成20年度 潤沼のいきもの：特別展	2010/3 2010/2
		上高津貝塚 ふるさと歴史の広場	小野大道西遺跡、第2次調査	2010/3
		神の寺・山の寺・里の寺：古代仏教信仰の広がり：第15回企画展：市制 施行70周年記念	2010/3	
		神立平遺跡：工場関連施設建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 中根遺跡：店舗建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 八幡船遺跡	2009/11 2009/10 2009/3	
栃木県	小山市立博物館	桑橋みどりと小山の養蚕：第56回企画展	2010/11	
		日本窯業史研究所	西富岡・向畑遺跡第2地点 池端・金山遺跡第2地点 東大竹・稲荷久保遺跡第4地点	2010/8 2010/11 2011/1
群馬県	渋川市教育委員会	しぶかわ道の神さま：写真で見る双体道祖神：渋川市歴史資料館秋季企画展 坂下遺跡	2010/1 2010/1	
		渋川市内内遺跡 III	2010/3	
		渋川市文化財年報 平成20年度	2010/3	
		竹ノ原・銭神塚遺跡	2010/3	
		天神山古墳群 1	2010/2	
渋川市北橋歴史資料館	引札：和の不思議世界へようこそ 渋川市北橋歴史資料館第6回企画展	2010/8		
埼玉県	立正大学博物館	群集墳の時代：野原古墳群：第7回特別展	2010/11	
		古代・中世の武蔵国の骨蔵器：立正大学博物館第7回企画展	2010/7	
		浮島前浦遺跡・浮島原古墳群発掘調査報告：茨城県稲敷市 立正大学博物館年報 8 (平成21年度)	2010/3 2010/4	
		春日部市教育委員会	貝の内遺跡12次地点 貝の内遺跡4次地点	2010/6 2010/6
		高麗神社 社務所	貝の内遺跡8、13、18次地点：陣屋遺跡8次地点：中屋舗遺跡1次地点	2010/3
三芳町教育委員会	高麗神社史料集、第1巻	2010/11		
富士見市立難波田城資料館	町内遺跡発掘調査報告書 7	2010/3		
富士見市	富士見市立難波田城資料館	水害と闘う：富士見市の洪水被害と今：平成23年春季企画展	2011/3	
		富士見のみそ・しょうゆ：平成22年春季企画展	2010/3	
		酒税関係史料集	2009/12	
税務大学校税務情報センター	租税史料年報 平成20年度版	2010/2		
千葉県	伊能忠敬記念館	伊能忠敬記念館年報 第11号(平成20年度)、第12号(平成21年度)	2011/3	
		アジアの境界を越えて：平成22年度人間文化研究機構連携展示	2010/7	
		俵倉家のアルバム：企画展示 孝允から幸一にいたる木戸家写真資料	2011/3	
		武士とはなにか：企画展示	2010/1	

出版地	寄贈者	書名	発行日
	市立市川自然博物館	市立市川自然博物館年報 No.20 (平成20年度)	2009/12
		市立市川自然博物館年報 No.21 (平成21年度)	2011/1
	市立市川歴史博物館	市立市川歴史博物館年報 平成20年度	2010/3
	松戸市立博物館	松戸市立博物館年報 17号 (平成21年度)	2010/8
		湯浅喜代治考古コレクション：夢を追った70年：平成22年度企画展	2010/1
	千葉市立加曾利貝塚博物館	貝塚博物館紀要 第37号	2010/3
	千葉県立中央博物館	千葉県立中央博物館研究報告 人文科学 第11巻2号 (通巻23)	2010/7
	船橋市飛ノ台史跡公園博物館	飛ノ台史跡公園博物館紀要 第7号	2010/7
東京都	江東区深川江戸資料館	江東幕末発見伝!	2010/3
	至文堂	東国の鎌倉時代彫刻：鎌倉とその周辺	2011/2
	港区教育委員会	港区埋蔵文化財調査年報 7 (平成20年度の調査他)	2010/3
		増上寺寺域第2遺跡発掘調査報告書	2006/3
		播磨赤穂藩森家屋敷跡遺跡発掘調査報告書 2	2010/3
	港区立港郷土資料館	研究紀要 12 (平成21年度)	2010/3
		江戸図の世界：平成二十二年度港区立港郷土資料館特別展	2010/10
		港郷土資料館館報 27 (平成20年度版)	2010/3
	文化環境研究所	Cultivate No.36	2010/9
		Cultivate No.37	2011/2
		文環研レポート 第30号	2010/9
		文環研レポート 第31号	2011/2
	放送大学教育振興会	観光の新しい潮流と地域	2011/3
	日本ユネスコ協会連盟	世界遺産年報：the world heritage 2011 (No.16)	2011/2
	真珠書院	サクッと基本現代文	2011/2
	杉並区立郷土博物館	「角川源義-出版・俳句・学問への熱意-」：平成22年度特別展：展示図録 のらくらみつけた!：田河水泡の杉並時代：平成22年度杉並区立郷土博物館分館企画展：展示図録	2010/1
	駒澤大学渾文化歴史博物館	「図書館誌」にみる駒大図書館史 その5 「図書館誌」にみる駒大図書館史 その6 駒澤大学渾文化歴史博物館年次報告書 平成21年度	2009/10 2010/10 2010/5
	世田谷区教育委員会 次大夫堀公園民家園	粉屋の記憶：水車と火車	2010/11
	芸術新聞社	墨	[2010]
	憲政記念館	政党政治への道-議会開幕から本格的政党党内闘生へ-特別展	2010/11
	昭和館	戦後の人々と、その戦後：出征遺家族の資料を中心として：昭和館特別企画展 終戦65周年記念 昭和のくらし研究 8号 昭和館：戦中・戦後のくらし 昭和館館報 11号 (平成21年度) 伝えておきたい昭和のくらし：戦中と戦後：授業で使える学習資料：保存版	[2010] 2010/3 2010/4 2010/10 2009/4
	日本学術振興会	科研費news：科学研究費補助金：grants-in-aid for scientific research. 2009 Vol.4, 2010 Vol.1-3	2010/6, 8, 12
	文化庁文化財部	「平成21年度美術館・博物館活動基盤整備支援事業」採択事業成果報告書	2010/9
	多摩市文化振興財団	多摩のどうぶつ物語：ほ乳類が見た地域の歴史：パルテノン多摩歴史ミュージアム特別展	2010/9
	パルテノン多摩	多摩市馬引沢のサイノカミ行事	2010/5
	国立科学博物館	Milsil：自然と科学の情報誌 Vol.3 No3-6 Milsil：自然と科学の情報誌 Vol.4 No1-2	2010/5, 7, 9, 11 2011/1, 3
	東京都美術館	東京都美術館年報 平成22年度	2010/7
	大田区立郷土博物館	ふしぎな縄文土器	2010/1
	中央区立郷土天文館 タイムドーム明石	水のまちの記憶：中央区の堀割をたどる：中央区立郷土天文館第9回特別展図録	2010/5
	玉川大学教育博物館	玉川大学教育博物館紀要 7号 玉川大学教育博物館館報 8号 (2009年度)	2010/3 2010/8
	町田市立自由民権資料館	自由民権：町田市立自由民権資料館紀要 23	2010/3
	東京家政学院 生活文化博物館	子どもの誕生と日々のくらし：江戸時代から現代へ：第22回特別展生活文化博物館開館20周年記念	2010/1
	板橋区教育委員会	歴史民俗研究：櫻井徳太郎賞受賞論集 第7輯	2010/3
	板橋区立郷土資料館	板橋と光学：平成22年度秋季特別展 vol.2 しむら：企画展	2010/1 2011/2
	(日本海事科学振興財団) 船の科学館	菱垣廻船/樽廻船：弁才船	2010/3
	品川区立品川歴史館	中原街道：品川歴史館特別展：平成22年度特別展	2010/10
	共和開発	志村坂上西方面遺跡第2地点発掘調査報告書：志村一丁目30番15号地点 舟渡遺跡第11地点発掘調査報告書	2010/6 2010/3

出版地	寄贈者	書名	発行日
	府中市郷土の森博物館	前野兎谷遺跡第3地点発掘調査報告書：前野町五丁目27番地点 四ッ谷土方平右衛門家文書目録	2010/6 2011/3
	豊島区立郷土資料館	府中市郷土の森博物館紀要 第24号 (2011年) 府中市郷土の森博物館年報 24号 (平成21年度) 生活と文化：研究紀要 19号 (2009) 豊島区地域地図：東京近傍1万1分1地形図 第4集 豊島部の村絵図：2010年度企画展	2011/3 2010/10 2010/3 2011/3 2010/10
北海道	北海道開拓の村	財団の事業報告 平成21年度	2010/7
青森県	青森県立郷土館	青森県立郷土館報 37号 (2010年度)	2010/4
岩手県	盛岡大学比較文化研究センター	比較文化研究年報 第20号	2010/3
福島県	奥会津博物館	奥会津博物館研究紀要 第1号 奥会津博物館収蔵資料目録 第1集	2010/3 2010/9
山梨県	南アルプス市教育委員会	折りのよこがお：南アルプス市内仏像等悉皆調査 山梨県南アルプス市文化財年報 平成21年度 戦国時代の史跡を歩く：ふるさとの歴史を楽しもう 堤の原風景 平成20年度埋蔵文化財試掘調査報告書 豊小学校遺跡(第11地点)：豊小学校屋内運動場改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 柵形堤防：堤防遺跡の埋蔵文化財確認調査報告書	2007/3 2010/3 [2010] 2010/3 2010/3 2008/3 2010/3
	環境庁自然保護局生物多様性センター	日本の動物分布図集	2010/3
静岡県	沼津市歴史民俗資料館	重要文化財「沼津内浦・静浦及び周辺の漁撈用具」 沼津市博物館紀要 34	2010/8 2010/3
	焼津市歴史民俗資料館	焼津市歴史民俗資料館年報 24 (平成21年度) 大覚寺遺跡 第17地点 方ノ上遺跡発掘調査報告書	2011/1 2010/3 2007/3
愛知県	安城市歴史博物館	安城御影：親鸞聖人像の原点：特別展 安城市歴史博物館研究紀要 No. 17 年報 第19号 (平成21年度) 描かれた農四季耕作図：開館二〇周年記念特別展 風まかせ東海中：江戸時代の旅人と街道：企画展	2010/9 2010/3 2010/7 2011/2 2010/7
	一宮市尾西歴史民俗資料館	鶴岡吉左衛門・幸吉とその周辺：特別展 尾張の土人形：尾西・尾北：特別展	2010/1 2010/1
	豊橋市自然史博物館	豊橋市自然史博物館年報 第22号 平成21年度	2010/6
三重県	藤原岳自然科学館	藤原岳：藤原岳自然科学館館報 第32巻 2009年度号	2010/7
	亀山市歴史博物館	亀山のくらしとお金：第13回企画展こどももおとなも調べて納得博物館	2010/9
	志摩市立織部郷土資料館	伊雑宮の御師たち 伊雑宮の御師たち 2 志摩のあけぼの展：考古資料からみた志摩の歴史 小平次漂流記：異本とその考察 難船とその始末：伊勢の神崎国崎の鑑波切大王なげりやよい 難船とその始末 2	2010/11 2010/11 2010/1 2006/3 2008/3 2010/3
	鈴鹿市考古博物館	Accessory collection 2009 国の華：伊勢国分寺の軒瓦：企画展 大きな土器と小さな土器：夏休みだヨ！博物館に集合！：企画展 発掘された鈴鹿：速報展 2009	[2009/10] [2010] [2009] [2009]
滋賀県	草津宿街道交流館	江戸の旅：物見遊山と湯治 草津の鉄道120年：東海道線・草津線と草津駅	2008/10 2009/3
大阪府	大阪市立自然史博物館	みんなであつくる淀川大図鑑：山と海をつなぐ生物多様性：第41回特別展解説書 自然史研究 Vol. 3 No. 11 28-XII-2010 大阪市立自然史博物館館報 34 (平成20年度) 大阪市立自然史博物館研究報告 第64号 奈良県産雑草実植物標本目録 1	2010/7 [2010] 2010/3 2010/3 2011/3
兵庫県	たつの市立龍野歴史文化資料館	心の風景：ふるさとを見つめつづけて乾太の眼差	2010/1
和歌山県	和歌山県立自然博物館	和歌山に恐竜がいたころ：白亜紀前期の化石大集合：第28回特別展解説書 和歌山県立自然博物館館報 第28号	2010/7 2010/12
岡山県	全日本刀匠会事務局	お守り刀展覧会作品集 第2回、第3回、第4回 現代お守り刀優品集 写真で覚える日本刀の基礎知識 精炎：日本刀の心と技 創刊号, Vol. 2, Vol. 3	2007-2009 2005/10 2009/4 2007-2009
山口県	光市教育委員会	初代内閣総理大臣伊藤博文没後100年記念事業の記録	2010/8
高知県	高知県立牧野植物園	高知県立牧野植物園年報 第9号 (2009)	2010/8

<受入機関誌・広報誌>

出版地	発行者	誌名	巻号	発行年月
大磯町	大磯ガイドボランティア協会	照ヶ崎	4-6	2010/8.11, 2011/2
	まちづくり工房「しお風」	湘南みかんだより	2	2010/11
茅ヶ崎市	茅ヶ崎市文化資料館	ちがさきの石仏	13, 14	2010/3.9
栗野市	野生動物救護の会	Runner	7-9	2010/4.9.12
寒川町	寒川文書館	寒川文書館だより	7-8	2010/3.9
小田原市	神奈川県立生命の星・地球博物館	自然科学のとびら	61-64	2010/7.9.12, 2011/3
真鶴町	真鶴町立中川一政美術館	美術館だより	18	2010/3
山北町	神奈川県立丹沢湖ビジターセンター	丹沢湖ビジターセンターだより	18-20	2010/9.12, 2011/3
横浜市	神奈川県立公文書館	神奈川県立公文書館だより	23-24	2010/3.9
	神奈川県自然観察指導員連絡会事務局	自然観察	344-355	2010/4-2011/3
	はまぎん産業文化財団	マイウエイ	78	2011/3
	横浜都市発展記念館	ハマ発newsletter	14-15	2010/8, 2011/1
	岩崎博物館	岩崎ミュージアムプレス	119-124	2010/4.6.8.10.12, 2011/3
	神奈川近代文学館	神奈川近代文学館	108-111	2010/4.7.9.12, 2011/1.3
	神奈川県教育委員会	PLANETかながわ	55, 56	2010/12, 2011/3
		パルーン	23, 24	2010/6.12
	神奈川県博物館協会	Network	31	2010/9
	神奈川県立歴史博物館	神奈川県立歴史博物館だより	183-185	2010/9.11, 2011/3
	日本新聞博物館	ニュースパークだより	45, 47, 48	2010/4.10, 2011/1
	かながわ考古学財団	考古学財団発掘帖	12-14	2010/3.6, 2011/1
川崎市	川崎市立日本民家園	日本民家園だより	73, 74	2010/7, 2011/1
鎌倉市	鶴岡八幡宮宝物殿	社報 鶴岡	112	2011/1
横浜須賀野市	横須賀美術館	Corridart	5, 6	2010/3.7
清川村	丹沢自然保護協会	丹沢だより	473, 476-483	2010/4.7.9-12, 2011/1-3
厚木市	厚木市教育委員会	厚木市史たより	1	2010/9
綾瀬市	綾瀬市教育委員会生涯学習部	市史だより	33	2010/3
栃木県	小山市立博物館	小山市立博物館博物館だより	50	2010/3
埼玉県	立正大学博物館	万吉だより	11, 12	2009/10, 2010/3
	埼玉県立川の博物館	かわはく	38	2010/7
千葉県	市立市川自然博物館	市立いちかわ自然博物館だより	132	2011/2
	松戸市立博物館	まつどミュージアム	19	2010/7
	船橋市 磯ノ台史跡公園博物館	縄文多空間スペース	30, 31	2010/1.3
東京都	物流博物館	物流博物館NEWS	11	2010/9
	杉並区立郷土博物館	が辺閑話	43	2010/10
	靖国神社遊就館	靖国	657-668	2010/4-12, 2011/1-3
	多摩市文化振興財団	バルテノン多摩MUSEUM NEWS	15, 16	2010/4.7
	台東区立下町風俗資料館	下町風俗資料館號外	3/1	2011/3
	玉川大学教育博物館	博物館ニュース Shu	34, 35	2010/2.8
	中央大学図書館	My CUL	15	2010/4
	府中市郷土の森博物館	あるむせお	92-95	2010/6.9.12, 2011/3
	豊島区立郷土資料館	かたりべ	94-100	2009/6.10.12, 2010/3.6.9, 2011/1
	東京都江戸東京博物館	江戸東京博物館news	69-72	2010/3.6.9.12
岩手県	牛の博物館	牛のはくぶつかん	35	2010/10
山梨県	環境庁自然保護局生物多様性センター	モリツク1000ニュースレター	4	2010/3
		生物多様性センターニューズレター	28, 29	2010/3.9
岐阜県	藤村記念館	藤村記念館だより	128, 129	2010/7, 2011/1
静岡県	沼津市歴史民俗資料館	沼津市歴史民俗資料館だより	186-188	2010/6.9.12
	静岡県立美術館	アマリス	97-100	2010/4.7.10, 2011/1
愛知県	安城市歴史博物館	博物館ニュース	76-79	2010/4.7.9, 2011/1
	豊橋市美術館	風伯	77, 78	2010/8.12
滋賀県	草津宿街道交流館	街道文化通信	19, 20	2010/1.3
和歌山県	和歌山県立自然博物館	自然博物館だより	3, 4	2010/9.12
高知県	高知県立牧野植物園	高知県立牧野植物園だより	42-44	2010/6.9.12
沖縄県	海洋博覧会記念公園管理財団	南ぬ風	15-18	2010/4.7.10, 2011/1

## 研究報告

---

## 講座『みんなで町の自然を調べよう～桜・タンポポ・春の花～』及び企画展『みんなで調べた今年の大磯町の春花』の実施報告

\* 北水 慶一

### 1. はじめに

大磯町郷土資料館では、平成22年度に教育普及活動事業と企画展事業を連動させた企画を実施した。教育普及活動事業に位置づける植物分布調査と企画展事業とを組み合わせたものである。これまでも教育普及活動の調査の延長に企画展の開催を見据えた企画を行ってきたが、本企画では調査と展示とをセットとして、期間をおかず企画を進めるとともに企画展会期中にも調査を行い、その都度、調査の結果を反映させるというやり方を進めた。通常、企画展は完全に完成した状態で公開するが、本展では7～8割方完成という状態で企画展初日をむかえ、徐々に新しい情報を加えていき、会期中中に完成させるという手法で、会期中に展示内容に変化を持たせた。本稿では企画の進行を紹介するとともに一連の調査の結果を紹介する。

### 2. 講座『みんなで町の自然を調べよう～桜・タンポポ・春の花』の実施

#### 2-1. 調査方法

##### 1) 調査員

調査員は植物調査に慣れている方、不慣れな方を問わず、町広報で募集し、参加を募った。呼びかけに対して大磯町、二宮町在住の37名の方々にご応募いただいた。

##### 2) 調査期間

調査期間を次のようにした。1年間を24の時期で分ける二十四節気をもとに、立春(2月4日)から立夏の前日(5月4日)までを調査期間とした。

##### 3) 調査対象の植物

調査対象の植物は調査参加者との協議のもと、16種類に絞り込んだ。大枠を「桜」、「タンポポ」、「春の花」として、「桜」は神奈川県植物誌調査会編集「神奈川県植物誌2001」、平塚市博物館発行「湘南植物誌V-分布図集 増補改訂版」を参考に本町において確認できそうで、かつ、見分けがしやすい種類を中心に選んだ。その結果、ヤマザクラ、オオシマザクラ、ソメイヨシノ、サトザクラ、イヌザクラ、マメザクラ、ウワミズザクラを対象とすることにした。

「タンポポ」は2000年に分布調査を実施しており、10年後の推移を確認しようという試みから前回と同様にカントウタンポポ、シロバナタンポポ、セイ



図1 調査参加者

ヨウタンポポ、アカミタンポポの4種を選んだ。

「春の花」は当初、大磯町で特徴的によく見られるものを5種程度、任意に選び出そうと考えていたが、調査参加者から調査を通して春の七草の見分け方を学びたい、分布状況について知りたいと意見が出たため、一般的によく知られる春の七草を対象とした。芹(セリ)、薺(ナズナ)、御影(ハハコグサ)、繁縷(ハコベ)、仏の座(コオニタビラコ)、菘(カブ)、蘿蔔(ダイコン)の7種であり、このうち、菘、蘿蔔は栽培品種であるため除いた。また、ハコベについては、ウシハコベ、ミドリハコベ、コハコベ等数種ある中で、今回はミドリハコベを対象とした。

##### 4) 調査方法

調査は合同調査、個別調査の2種類で実施した。

合同調査は種の見分け方、生えていそうな環境等の情報交換を目的に調査期間中5回行なった。当館が所在する大磯城山公園や大磯駅等参加者が集まりやすい場所に集合し、巡回後また同じ場所で解散できるようにコースを組んだ。

個別調査では大磯町を17の区域に分け、それぞれの区域に担当者をあてて、都合のよい時に巡回できるようにした。

#### 2-2. 調査の結果

それぞれの調査の結果は、図3から図17のとおりである。地図上に確認したポイントを赤い丸印で示している。実際の調査では確認した場所で株数を数え、10株以上と10株未満の場所では表記の仕方を変えたが、本稿では、特に区別をせず、確認したポイントのみを紹介している。

##### 1) 桜

イヌザクラを除くすべての種類が確認できた。住宅地にはソメイヨシノが特に多く、サトザクラも所々で見ることができた。ヤマザクラとオオシマザ

(\* 当館学芸員)

クラは山間の場所を中心に見られたが、ヤマザクラが際立って多いことが分かった。また、マメザクラ、ウミズザクラは本調査では2ヶ所、1ヶ所と極めて少なかった。サトザクラ、ウミズザクラを除く4種については開花した直後は、それぞれの特徴がはっきり見られ、比較的容易に同定をすることができたが、開花も終わりに近づくと同定が難しくなった。葉や苞の形状をもとに判断したが、山中に生えているもの、高木のものなどは直接、葉や花を手にとってみるのが難しく、同定に時間を要した。

## 2) タンポポ

本調査では総苞片の形状、瘦果の色、形を中心に同定を行なった。総苞片が反り返るものについて、セイヨウタンポポに限った形質ではなく、カントウタンポポとの雑種が多く含まれるという見解が示されているが、本調査では、反り返っているものはセイヨウタンポポと記録した。セイヨウタンポポとアカミタンポポは花期、両種ともに総苞片が反り返える形質があり、結実期に瘦果の色を確認する必要があるが、限られた期間に広範囲の調査を行うため、2度、3度、同じコースを巡回することが難しく、瘦果の色が確認できないものは前述と同様にセイヨウタンポポと記録した。

本調査では2000年の調査と同様に4種類、すべてを確認することができた。2000年の調査と本調査を比較した結果、カントウタンポポとセイヨウタンポポの差はあまり見られなかったが、シロバナタンポポとアカミタンポポは、量的な差が顕著に見られた。2000年の調査ではアカミタンポポはやや普通に見

られ、シロバナタンポポは1ヶ所のみという結果であった。一方、本調査ではアカミタンポポは極めて少なく、シロバナタンポポは以前の結果とは異なり、少ないながらも数箇所で確認できた。この理由としては、10年という時間の経過が起因しているのではなく、調査を実施した時期に原因があると思われる。2000年の調査は5月11日から6月2日までを調査期間とし、本調査では2月4日から5月4日までを調査期間とした。シロバナタンポポは他のタンポポと比べ、開花のピークが3月中旬から4月中旬頃までと早く、2000年の調査では開花のピークを外したため、少なかったようである。アカミタンポポは同定をすることで、瘦果の色が判断の材料になるが、4月上旬頃から結実期をむかえたものをよく目にするようになったため、確認数が少なかったのではないと思われる。以上の点において、調査の精度については、やや問題があると思われる。次の課題としたい。

## 3) 春の七草

特にナズナがよく確認できた。

同定の難しさという点ではコオニタビラコ、ミドリハコベに苦労した。コオニタビラコは合同調査において、田畑で群落を確認することができ、以降、調査員は皆一様に見分けることができるようになった。ミドリハコベの見分け方にはコハコベに似た形質のものが見られ、最後まで苦慮した。調査開始当初は、雄しべの数と茎の色によって、見分けるようにしたが、花卉に対する苞片の長さを根拠に入れるようにした。

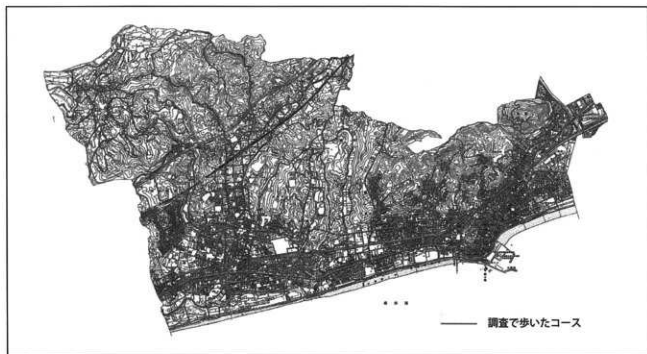


図2 調査地の区分けと巡回したコース

大磯町発行「大磯町全図（1万分の1）」の地図を縮小して使用



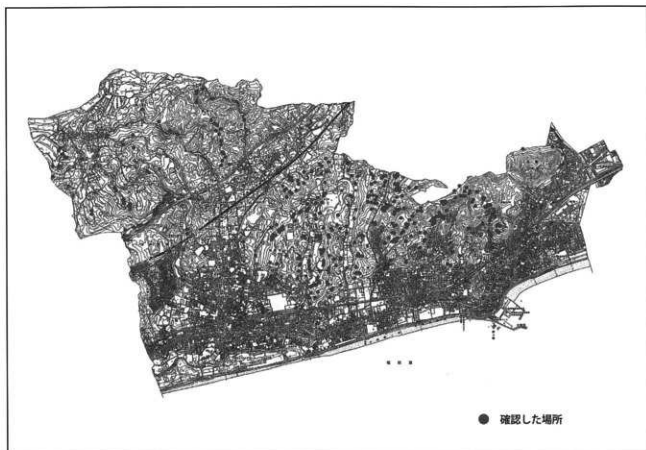


図3 ヤマザクラの分布

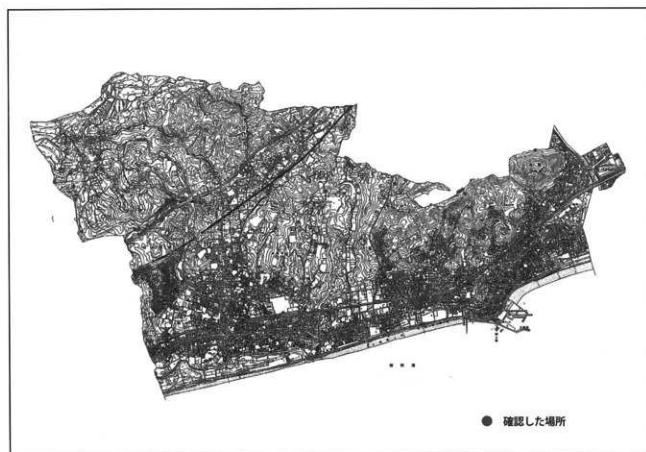


図4 オオシマザクラの分布

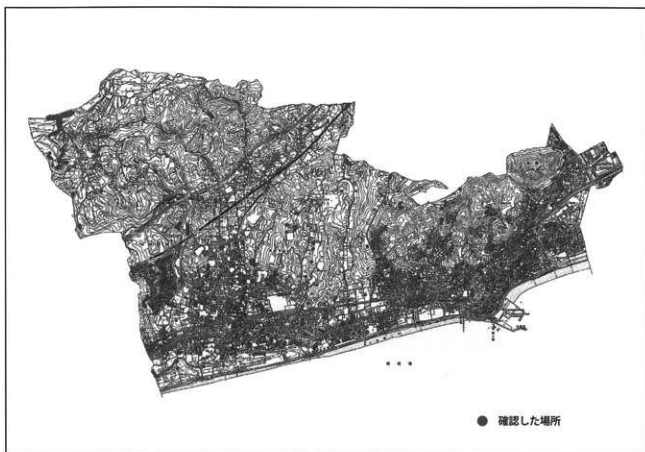


図5 ソメイヨシノの分布

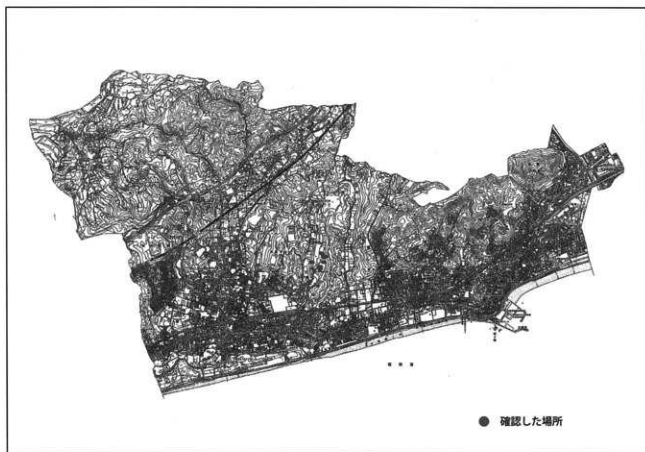


図6 サトザクラの分布

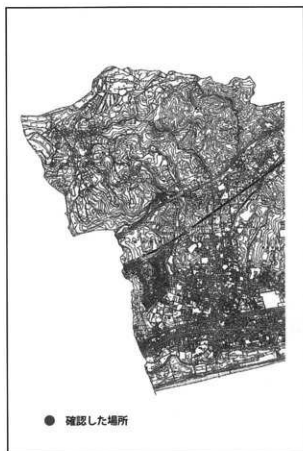


図7 マメザクラの分布



図8 ウラミズザクラの分布

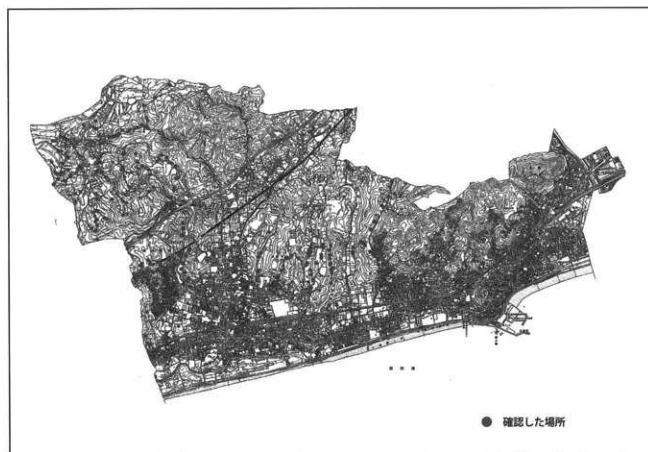


図9 カントウタンボボの分布

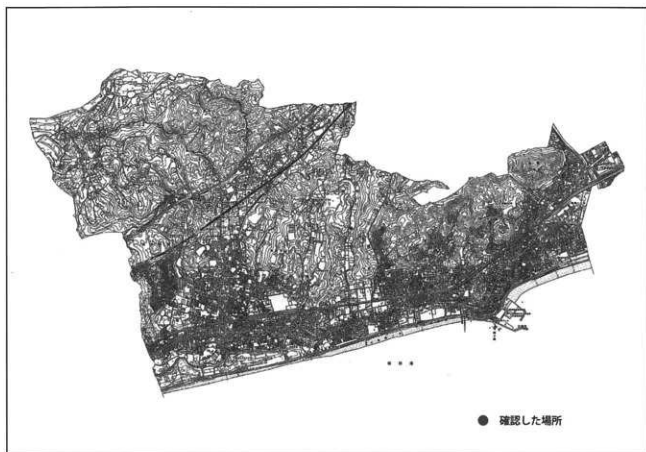


図10 シロバナタンポポの分布

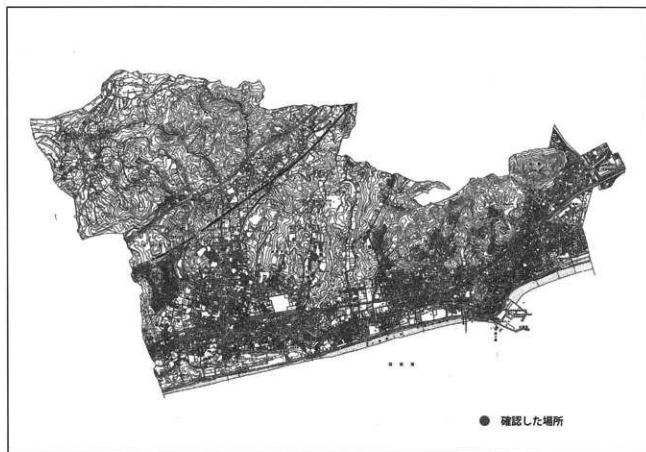


図11 セイヨウタンポポの分布

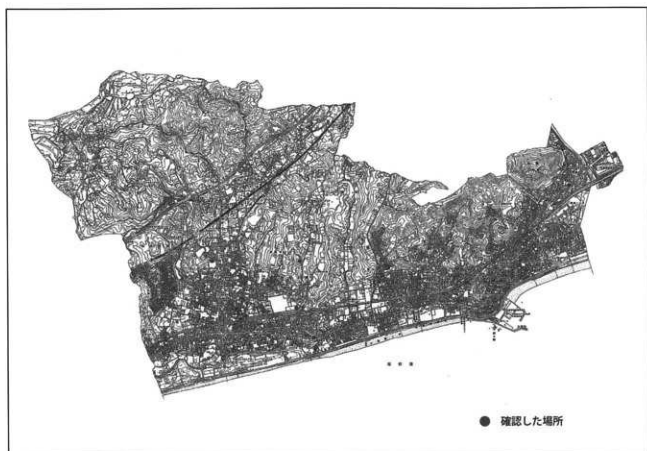


図12 アカミタンボボの分布

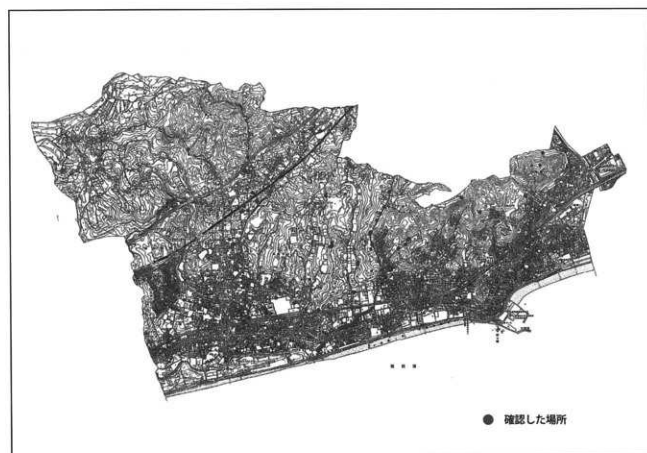


図13 セリの分布

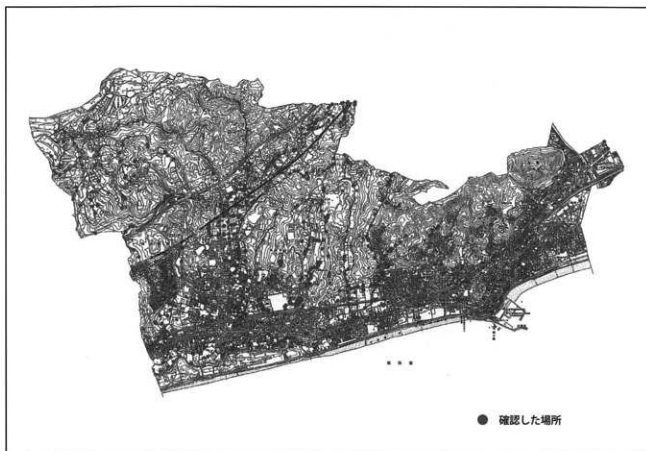


図14 ナズナの分布

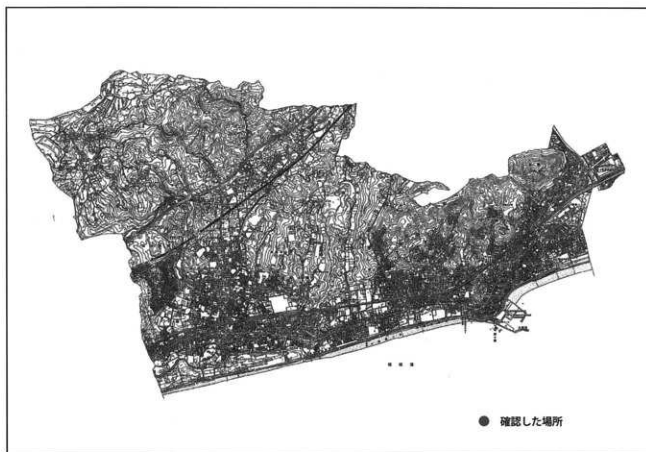


図15 ハハゴグサの分布

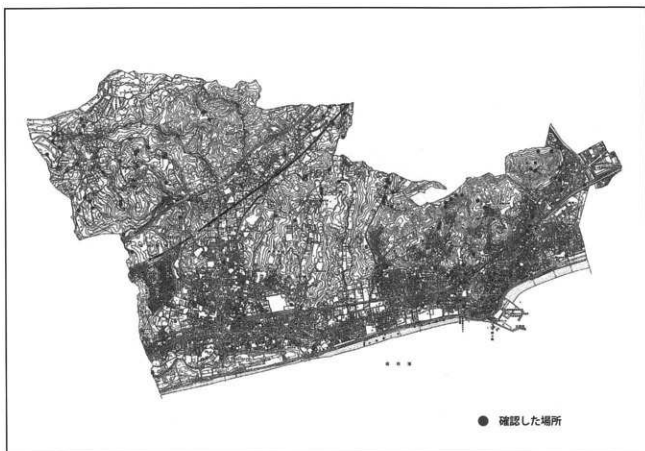


図 16 ミドリハコベの分布

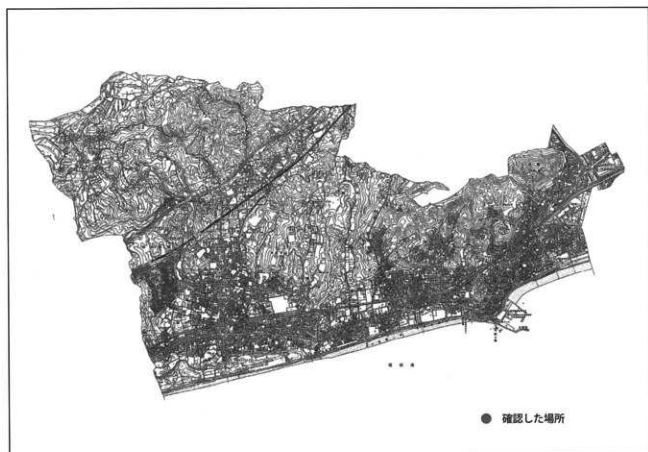


図 17 コオニタビラコの分布

### 3. 学習参考資料展『みんなで調べた 今年の大磯町の春花』の開催

調査は5月4日までであったが、調査が完了する9日前の4月25日から学習参考資料展を開催した。学習参考資料展という展示名称にしたのは中学校理科の「植物の世界」の学習に合わせた展示内容にしたことによる。

展示の準備は調査に参加された方々にもご協力いただいた。4月3日、4月20日、4月21日、4月22日、4月24日の5日間で、調査結果の集計とともに写真パネル、地図の掲示をしていただいた。

展示の構成は、桜、タンポポ、春の七草という項目別にあげた個々の種類の分布状況を地図で紹介するとともに調査期間に確認した春の花の写真を紹介するものであった。春の花の写真の展示とは、立春(2月4日)から立夏の前日(5月4日)までの期間に大磯町内で撮影された花の写真を表示するものであり、調査に参加された方はもちろんのこと、チラシや展示を見られた一般の方からもご提供をいただいた。最終的に当館職員を含めて11名の方々からご提供いただいた。会期中に徐々に手を加え、学習参考資料展初日の写真の展示枚数は63枚であったが、5月下旬には144枚と2倍以上に増えた。記録として展示した写真の一覧を表1に紹介する。

### 4. まとめ

学習参考資料展を開始する2ヶ月前のみんなで町の自然を調べようのガイドランスから出発した企画であるが、始まった当初は、全く展示する資料がなく、当館の企画展示室が埋まる程の資料が集まるかどうか不安であった。調査員の募集時も大磯町全域を対象にすることができる程の人数が集まるかどうか不安であったが、幸いにも37名という多くの方々に関心を持っていただいた。調査に参加された方から、大磯町内に住んでいても歩いたことのない場所を巡回し、それぞれの地域での自然環境の違いが理解できた。3ヶ月間という期間だったが、植物の生長とおして季節の進み方の速さが分かった。初めて目にした植物を観察でき、参加してよかったという声をいただいた。一連の企画を予定どおり、実施することができ、多くの参加者に一定の充実感を持っていただけたことで、一応の成果を得られたのではないかと考えている。

ただし、次のことが課題としてあげられる。本展では展示資料が写真と図に偏り、実物の資料が必要と思われたため、当初は機会を見ながら、植物標本を作製していく予定でいた。しかしながら、極力、町内全域を網羅しようという調査に時間を掛け、標本作製ができなかった。根拠標本を残していくということは前回の調査である万台こゆるぎの森の植物調査



図18 春の花の展示風景

でもあげた事柄であり、今回も同様の課題を残した。また、参加者全員の同定の知識を増やしていくことも必要だと思われた。今後、夏、秋、冬とそれぞれの季節の状況を確認していく中で解消していきたい。最後に調査及び展示準備にご参加いただいた方々の名前を記して、感謝申し上げます。

秋山京子・市川恵・内山千代子・大久保恵美子・大久保武・小野恵子・小宅昭樹・小宅瑞樹・小宅裕樹・加藤喜則・川原一恵・菊池なつみ・北水慶一・小山由雄・杉山彰子・鈴木昭夫・曾根田貴子・曾根ハツエ・田中洋子・外川敏子・中村ふち・畠山恵子・曳野義子・平島靖士・福田適・布施鈴子・星野正美・松島まり子・義高淳子・宮川紀子・村上敦子・村田愈子・柳田利幸・柳田道雄・矢部良子・山本章博・和田美乃 (敬称略)

### 5. 参考文献

- 浅野貞夫・廣田伸七(2002)『似た草80種の見分け方』全国農村教育協会  
大原隆明(2009)『サクラハンドブック。文一総合出版』  
大場秀幸・川崎哲也・田中秀明(2007)『新日本の桜』山と溪谷社  
勝木俊雄(2009)『増補改訂 フィールドベスト図鑑10 日本の桜』学習研究社  
神奈川県植物誌調査会編(2001)『神奈川県植物誌2001』神奈川県立生命の星・地球博物館  
北村二郎・村田源(1987)『原色日本植物図鑑・木本編II』保育社  
林弥栄ほか監修(2003)『野草 見分けのポイント図鑑』講談社  
平塚市博物館(2000)『平塚市博物館資料49 湘南植物誌V』平塚市博物館



表1 展示した春の花の写真リスト

No.	種名・品種名	撮影日	撮影場所	撮影者	No.	種名・品種名	撮影日	撮影場所	撮影者
1	アオキ	3月27日	西小磯		37	クロッカス	2月19日	(未詳)	外川 敏子
2	アケビ	3月23日	(未詳)	平島 靖士	38	グンバイナズナ	3月27日	国府本郷	
3	アケボノ	5月2日	国府本郷		39	ケキツネノボタン	3月27日	西小磯	
4	アブラナ	(未詳)	西久保	小山 由雄	40	ゲンゲ	3月27日	西小磯	
5	イカリソウ	4月8日	(未詳)	外川 敏子	41	コウボウムギ	5月3日	東町	
6	イチリンソウ	4月9日	生沢		42	コオニタヒラコ	4月3日	西小磯	曾根 ハツエ
7	イヌシデ	3月27日	西小磯		43	コオニタヒラコ	3月27日	西小磯	
8	イロハモミジ	3月28日	西小磯		44	コクサギ (雄花)	3月30日	高麗山	
9	イワボタン	4月1日	生沢		45	コクサギ (雄花)	3月21日	王城山	川瀬 和江
10	ウシハコベ	4月30日	西小磯		46	コクサギ (雄花)	3月22日	高麗山	川瀬 和江
11	ウシハコベ	4月25日	高麗山	川瀬 和江	47	コナラ	4月13日	国府本郷	
12	ウスアカカタバミ	4月14日	西小磯		48	コブシ	3月28日	西小磯	
13	ウラシマソウ	3月30日	高麗山		49	コマツヨイグサ	5月3日	大磯	
14	ウラシマソウ	(未詳)	高麗山	村上 敦子	50	コマツツメクサ	5月2日	高麗	川瀬 和江
15	オオイヌノフグリ	3月30日	国府本郷		51	サルトリイバラ	4月1日	生沢	
16	オオムラサキ	5月2日	国府本郷		52	シキミ	4月13日	国府本郷	
17	オドリコソウ	4月1日	生沢		53	シナレンギョウ	3月27日	国府本郷	
18	オドリコソウ	4月20日	高麗	川瀬 和江	54	シャガ	3月28日	国府本郷	
19	オニタヒラコ	4月13日	国府本郷		55	シャガ	3月23日	高麗	川瀬 和江
20	オヤブジラミ	5月2日	高麗	川瀬 和江	56	シュンラン	4月13日	国府本郷	
21	カキドオシ	4月24日	西小磯		57	ショカツサイ	3月30日	国府本郷	
22	カキドオシ	4月20日	高麗	川瀬 和江	58	シラユキゲシ	5月3日	高麗山	
23	カタバミ	5月3日	大磯		59	シロバナタンポポ	4月11日	(未詳)	曾根 ハツエ
24	カラシナ	3月30日	国府本郷		60	シロバナタンポポ	3月14日	高麗	
25	カントウタンポポ	4月13日	国府本郷		61	シロバナタンポポ	4月10日	大磯	小山 由雄
26	キバナオドリコソウ	5月3日	黒岩		62	シロバナタンポポ	4月13日	(未詳)	平島 靖士
27	キブシ	4月9日	鷹取山		63	シロバナハンショウグサ	5月3日	高麗山	
28	キュウリグサ	4月13日	国府本郷		64	シロバナホトケノヂ	3月23日	(未詳)	平島 靖士
29	キランソウ	3月23日	高麗	川瀬 和江	65	シロバナマンテマ	5月3日	大磯	
30	キランソウ	4月10日	大磯	小山 由雄	66	シロバナマンテマ	5月2日	東町	川瀬 和江
31	キンラン	4月24日	国府本郷		67	スイバ	4月24日	西小磯	
32	クサイチゴ	3月30日	国府本郷		68	スズメノエンドウ	3月21日	大磯	川瀬 和江
33	クサノオウ	4月9日	鷹取山		69	スズメノヤリ	3月28日	国府本郷	
34	クサノオウ	4月20日	高麗	川瀬 和江	70	セイヨウアブラナ	3月30日	国府本郷	
35	クサフジ	4月19日	生沢		71	セイヨウタンポポ	4月24日	西小磯	
36	クヌギ	3月27日	国府本郷		72	セントウソウ	3月28日	西小磯	

No.	種名・品種名	撮影日	撮影場所	撮影者	No.	種名・品種名	撮影日	撮影場所	撮影者
73	セントウソウ	3月21日	王城山	川瀬 和江	109	ハマボウフウ	5月3日	東町	
74	タチヌノフグリ	5月3日	大磯		110	ハマボウフウ	5月2日	東町	川瀬 和江
75	タチツボスミレ	4月1日	西久保	村田 愈子	111	ハルジオン	4月11日	高麗	
76	タチツボスミレ	(未詳)	虫窪	小山 由雄	112	ヒラギナンテン	3月28日	西小磯	
77	タネツケバナ	3月30日	国府本郷		113	ヒサカキ	3月27日	西小磯	
78	ツボスミレ	4月30日	西小磯		114	ヒメウス	3月30日	国府本郷	
79	ツルナ	5月2日	大磯	川瀬 和江	115	ヒメオドリコソウ	3月30日	国府本郷	
80	ツルニチニチソウ	3月31日	国府本郷		116	ヒュウガミズキ	3月15日	(未詳)	平島 靖士
81	トウダイグサ	3月15日	国府本郷		117	ヒルゼキツキミソウ	5月3日	大磯	
82	トウダイグサ	3月23日	東町	川瀬 和江	118	フキ	4月13日	国府本郷	
83	トキワツユクサ	4月30日	西小磯		119	フクジュソウ	2月19日	(未詳)	外川 敏子
84	トキワツユクサ	5月2日	高麗山	川瀬 和江	120	フゲリンドウ	4月13日	国府本郷	
85	トサミズキ	3月28日	西小磯		121	フラスパソウ	3月20日	高麗	川瀬 和江
86	トベラ	5月3日	東町		122	ヘビイチゴ	4月25日	高麗山	川瀬 和江
87	トベラ	5月2日	東町	川瀬 和江	123	ヘラオオバコ	5月3日	大磯	
88	ナガミヒナゲシ	4月24日	西小磯		124	ホウチャクソウ	4月24日	国府本郷	
89	ナズナ	4月1日	西久保	村田 愈子	125	ホウチャクソウ	4月25日	高麗山	川瀬 和江
90	ナズナ	3月11日	(未詳)	平島 靖士	126	ボケ	3月19日	西小磯	
91	ナツグミ	4月10日	高麗山		127	ホタルカズラ	4月13日	国府本郷	
92	ナツトウダイ	3月22日	高麗山	川瀬 和江	128	ホトケノザ	3月15日	国府本郷	
93	ナツトウダイ	4月9日	(未詳)	平島 靖士	129	マツバウンラン	4月20日	高麗	川瀬 和江
94	ニリンソウ	3月30日	高麗山		130	マルバウツギ	5月3日	高麗山	
95	ニリンソウ	3月22日	高麗山	川瀬 和江	131	マルバウツギ	5月2日	高麗山	川瀬 和江
96	ニリンソウ	(未詳)	高麗山	内山 千代子	132	マルバシャリンバイ	5月3日	東町	
97	ニリンソウ	4月11日	(未詳)	平島 靖士	133	ムラサキケマン	3月27日	国府本郷	
98	ノグシ	4月11日	高麗		134	ムラサキサギゴケ	3月30日	西小磯	
99	ノジシャ	4月25日	国府本郷		135	モクレイシ	3月13日	西小磯	
100	ノジスミレ	4月1日	西小磯	加藤 喜規	136	モクレイシ	(未詳)	西小磯	内山 千代子
101	ノボロギク	3月27日	西小磯		137	モチノキ	3月28日	西小磯	
102	バイモ	3月28日	国府本郷		138	モミジイチゴ	3月27日	西小磯	
103	ハナニラ	4月3日	西小磯		139	ヤハズエンドウ	3月15日	国府本郷	
104	ハナニラ	(未詳)	西久保	小山 由雄	140	ヤブツバキ	3月18日	高麗山	
105	ハハコグサ	3月30日	高麗山		141	ヤマネコノメソウ	3月15日	(未詳)	平島 靖士
106	ハマエンドウ	5月3日	東町		142	ヤマブキ	4月11日	西小磯	
107	ハマヒルガオ	5月3日	東町		143	ヤマモモ	3月27日	国府本郷	
108	ハマヒルガオ	5月2日	東町	川瀬 和江	144	ユリワサビ	(未詳)	高麗山	内山 千代子

「撮影者」欄の未記載のものは、郷土資料館職員が撮影したものと見られる。

# 年 報

平成 22 年度

◇ 平成 24 年 3 月 30 日発行

◇ 編集・発行

大磯町郷土資料館

〒255-0005 神奈川県中郡大磯町西小磯 446-1

TEL 0463(61)4700 FAX 0463(61)4660